うらやす市民大学募集案内

2025秋－2026春

令和7年度募集期間

7月14日(月)

～

8月31日(日) ※必着

01 市長挨拶

令和７年度うらやす市民大学受講生募集にあたって

うらやす市民大学は、市民の皆様がまちづくり活動を行うために必要な知識や技能を学ぶ機会を提供するため、平成 21 年度に開校しました。

これまでに受講された皆様におかれましては、学んだ成果を活かして、コミュニティづくりや地域課題解決のために、さまざまな分野でまちづくり活動を展開していただいているところです。

人生 100 年時代といわれている今日、人口減少・少子高齢化、激甚化する自然災害、さらには急速なデジタル化など、私たちを取り巻く環境は、時代の流れとともに変化してきています。将来の予測が困難な時代だからこそ、あらゆる変化に対応できるよう、市民の皆様や地域コミュニティ、市民活動団体など多様な主体が、行政とともにまちづくりを進めていくことが一層必要となっています。

令和７年度うらやす市民大学の講座内容につきましては、このような地域の課題解決に資するテーマとして、介護予防、防災、子育て、環境保全などの講座に加え、昨年度に新設した市民活動団体の裾野を広げ基盤強化につながる講座を継続して行います。また、新たに、安全で安心なまちづくりとして防犯対策の講座を設けました。

各講座における学習は、受講生同士、そして、現在活動している団体との新たな出会いとなり、より良い地域社会を築いていく一助になることを期待しています。

引き続き、市民の皆様とともに地域の絆をさらに深め、地域社会全体の発展に貢献するため、「オール浦安」で地域の課題に取り組んでまいります。

受講生皆様がうらやす市民大学での学びを通じて生きがいを再発見し、地域のさまざまな場面でご活躍されることを祈念しています。

皆様のご参加を心よりお待ちしています。

令和７年７月

浦安市長　　内　田　悦　嗣

02 学長挨拶

学びを通して市民の自主的で主体的なまちづくりを拓く

２年制の「まちづくりサポーターコース」を含む新たなうらやす市民大学が令和４年10月に再出発してから令和７年10月で４年目に入ります。この８月には、１期生に続いて「まちづくりサポーターコース」で学んだ２期生が、うらやすのまちづくりにかかわるテーマを設定して修了レポートをまとめました。これからの浦安でのさらなる地域活動や学びの継続に大いに期待しているところです。

令和７年度秋学期・８年度春学期に開講される講座は、「まちづくりサポーターコース」では、市民自治論や市民のまちづくり論、「自由選択コース」では、介護予防、公衆衛生、暮らしと環境、浦安のまちづくり形成史など、多彩な講座が準備されています。「まちづくりサポーターコース」で開講されている講座も「修了演習」を除いて自由に受講することができますし、うらやす市民大学での学びを活かして「修了レポートをまとめてみたい」と思う市民のかたには「まちづくりサポーターコース」への編入も可能です。

いま世界では、止むことのない戦火、地球規模での温暖化と環境問題、経済的格差と貧困問題など深刻な状況が続いています。そうしたグローバルな課題と密接に結びつきながら、ここ浦安においても地域的な特徴を帯びつつ、少子・高齢化、人口減少問題などを背景に、どのように持続可能な地域社会をつくっていくのか、が大きく問われています。学びを通して世界を読み解く力を養うこと、そして私たちの暮らしを少しでも良くしていく努力と結びつけた学びがいま求められています。

うらやす市民大学を受講するなかで、仲間とともに学びあい、また講師の先生方や浦安市の職員の方々と学びあうなかで、これからの浦安市のまちづくりを考えてみませんか。

多くの市民がうらやす市民大学を受講されることを心から願っています。

令和７年７月

うらやす市民大学学長　長　澤　成　次

03 うらやす市民大学の概要

■**趣旨**：「うらやす市民大学」は、まちづくり活動を行うために必要な知識や技能を学び、市民の皆さんが地域に貢献するまちづくりの担い手となり、活躍するための学びの場です。

うらやす市民大学のコンセプト
○「市民自治」によるまちづくりの推進
○市民の自主的なまちづくりを拓く市民大学
○受講生の関心に応じて深化・発展させる学習環境づくり

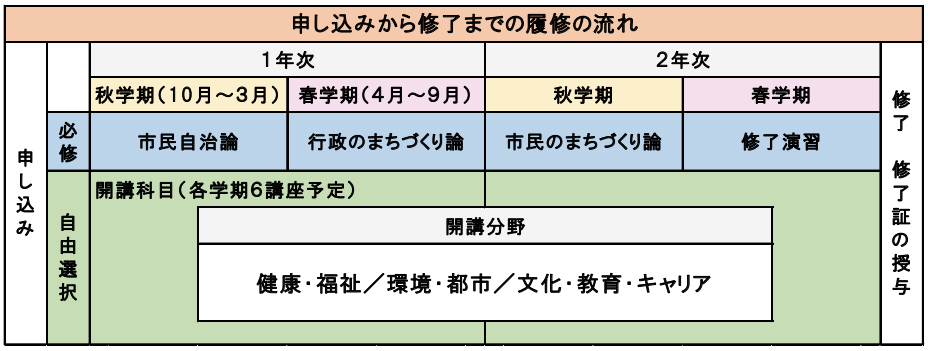
■**特色**：うらやす市民大学には２種類の受講形態があります。

①まちづくりサポーターコース

地域課題をめぐって、自分の関心を自由に膨らませながら、自分たちで考えて行動するための知識や技能を体系的に学ぶことができるコースです。必修講座や自由選択講座など、規定の講座数を受講することで、２年間で 10 講座 20 単位の取得を目指します。２年次の春学期に開講されるゼミ形式の修了演習では、各自が取り組む市民活動やフィールドワーク等をもとに、修了レポートをまとめていきます。修了した際には、修了証が授与されます。

２年間で規定単位が取得できなかった場合は、講義を最後に受講した年度から２年間は取得した単位を有効とします。

○まちづくりサポーターコースの履修の流れ



②自由選択コース　※修了演習以外の講座はすべてお申し込みできます。

受講年数や受講する講座数に制限はなく、ご自身の関心やまちづくり活動の状況に合わせて受講することができます。

※過去に受講した自由選択コースの単位を振り替えて、まちづくりサポーターコースに参加することができます。詳しくは、うらやす市民大学事務局までご相談ください。

■**授業科目**：学期ごとに必修講座２科目、自由選択講座６科目の開講を予定しています。

■**授業時間**：１授業 90 分
１時限目：10：00 ～ 11：30 ／２時限目：13：00 ～ 14：30 ／３時限目：15：00 ～ 16：30

■**受講料**：１講座（10 回）あたり 5,000 円

■**参加証明書の発行**：生徒や学生が学校等への提出を目的に参加証明書の発行を希望する場合、出席状況やレポートの提出等を踏まえて発行します。
※詳しくはうらやす市民大学事務局までお問い合わせください。

まちづくり基本条例とうらやす市民大学の関わり

令和４年４月１日に施行した「浦安市まちづくり基本条例」では、まちづくりの基本的な考え方として、「まちづくりは、市民の意思に基づいて自ら進められることを基本とする」としており、「まちづくりを進めるに当たり、自らできることは自ら、自分たちでできることは自分たちで考えて実践する」と定めています。また、まちづくりの基本原則の一つである「参加と連携協力の原則」により、個人、近隣、地域コミュニティ、市民活動団体や事業者などの多様な主体がまちづくりに参加し、市や議会とともに連携協力してまちづくりを進めることとしています。

うらやす市民大学は、浦安市まちづくり基本条例の考え方に則り、市民の皆さんの自主的なまちづくりを拓く人材育成の場として、市民自治によるまちづくりを推進します。

04 市内における活躍の場

市内では、市民の皆さんが主体となって、コミュニティづくりや地域課題解決のために、様々な分野でまちづくり活動を展開しています。また、市には活動を支援するための施設や支援制度などがあります。

うらやす市民大学での学習をきっかけに、ご自身の形で、まちづくり活動を始めたり参加したりしてみませんか。

■地域活動団体

まちづくり活動の中で最も身近な活動は、自治会や老人クラブ、ＰＴＡ、マンション管理組合など、特定の地域において行う活動です。

ここでは、地域活動団体における活動への参加の一例を紹介します。

【例】自治会との関わり方

地域コミュニティの中核をなす自治会は、各種の会合、自治会まつり等、多くのイベントを開催しています。これらの活動に積極的に関わることで、コミュニティづくりや、防災・防犯、地域福祉等の課題解決に取り組みます。

■市民活動団体

まちづくり活動の中で、特定のテーマ・分野で行う公益的活動を市民活動といいますが、市内では、多くの団体が多様な分野で活動しています。

団体の支援を目的に運営している浦安市市民活動センターの利用承認を受けている団体は令和７年３月末時点で238団体あり、様々な分野の市民活動が市内で行われています。

保健・医療・福祉の増進

- 高齢者の在宅療養に伴う相談、支援活動
- 認知症カフェとして、悩み事の相談や集いの場を提供
- 高齢や病気、障がい等でお困りの方に、掃除や調理、買い物の付き添い等を実施
- 障がいのある方の居場所や自立支援、自立訓練の実施

子どもの健全育成

- 地域が抱える子どもの孤食や貧困の解消に向けたこども食堂の運営
- 先輩ママ達が悩み事の相談に応じ、地域の子育て親子を支援
- 子どもや家族に関する悩みを持つ方へ、情報提供や心理的サポートの実施

環境の保全

- 回収された古着の再利用、資源のリサイクルに関する見学会や勉強会の開催
- 地域猫（飼い主のいない猫）の問題でお困りの方への相談に応じる
- 市民が水辺に関心を持ち、大切さを学んでもらうためのイベントの実施

市民活動センターとは・・・

市民活動やボランティア活動を行っている団体やこれから始めようとする人たちに「相談対応」「情報」「活動拠点」「ネットワーク」「備品」といった社会的資源を提供し、様々な側面から市民活動を支援しています。

コーディネーターが常駐しているので、団体の立ち上げに関する相談や運営方法へのアドバイスなど気軽にご相談いただけます。

「ボランティアをやってみたい」「地域のために役に立ちたい」「市民活動に関心がある・もっと知りたい」とお考えの方はぜひご利用ください。

住所：〒279-8501　浦安市猫実 1-1-1（市庁舎 10 階）
電話：047-305-1721　ＦＡＸ：047-305-1722
Ｅメール：shiminkc@jcom.home.ne.jp　ホームページ：http://www.u-shimin.genki365.net
開館日：日曜日～金曜日　午前９時～午後５時　休館日：土曜日・祝日・年末年始（12 月 29 日～１月３日）

■様々な形でのまちづくり活動への関わり方

まちづくり活動への関わり方については、様々な方法や場面があります。
ここでは、うらやす市民大学の講座受講後、どのような活動場面があるのか、その一例を紹介します。

例①　新たなまちづくり活動団体を立ち上げる

（講座を受講した方）
- 選択講座で防災分野の講座を選択し、地域防災計画に関することや災害時の自助に関する取り組みについて、理解を深めた。
- 自身も防災士の資格を有しており、地域の為に知識を伝えていきたい。
- 団体を立ち上げるにあたり、会員の確保に必要なチラシの作成を行いたいが、費用面で不安がある。
- 団体の運営に関し、運営のコツや他の団体がどのような運営を行っているのか知りたい。

（浦安市）
- 市民活動補助金制度により、団体の会員確保に向けた事業に補助金を交付し、支援する。
- 市民活動センターにより、団体が安定的かつ継続的に活動が行えるよう、課題解決につながる講座等を実施し、支援する。また、団体が交流する機会を設け、団体相互の連携協力を促進する。

市民活動補助金制度とは…
市民活動団体が行う事業の経費の一部を補助することにより、自主性のある市民活動と市民活動団体の自立を促進させるための制度です。
上限額 10 万円の「自立促進事業（はじめの一歩）」と、上限額 50 万円の「活性化事業（ステップアップ）」の２種類があり、事業実施の前年度に募集を行い、第三者機関による候補事業の選定を経て、市が補助対象候補事業として決定した後、事業の実施年度に交付申請が可能となります。

例②　既存のまちづくり活動団体の活動に参加する

（講座を受講した方）
- 選択講座で環境分野の講座を受講し、ごみ問題から見える社会づくりのヒントについて、理解を深めた。
- まちづくり活動団体の運営に関する講座を受講し、会員確保の方法などについて、理解を深めた。
- 新規で団体を立ち上げるよりも、既に活動している団体のサポートから始めたい。
- 普段の生活で SNS を多く利用している。

（悩みを抱える団体）
- 地域の環境美化活動を行っている団体「うらやすクリーンズ（仮称）」。
- 事業が固定化しているが、新たな事業（アイデア）が不足している。
- 10 年以上活動を継続しているが、会員の高齢化により新たな担い手が必要。

（浦安市）
- 市民活動センターにより、相談のあった団体と講座を受講した方をつなぐ。

（講座を受講した方 ＋ 団体 ＋ 浦安市）
- 講座を受講した方の視点から新たな事業（アイデア）が生まれるとともに、SNS を活用した事業の周知、新たな会員の確保につながる。

【市民活動に関するお問い合わせ】
浦安市　市民経済部　市民参加推進課
〒 279-8501　浦安市猫実 1-1-1　電話：047-712-6059（直通）　E メール：shiminsanka@city.urayasu.lg.jp

05 令和７年度募集要項

■**申込期間**：令和７年７月 14 日 (月) から８月 31 日 (日) まで (必着)
■**申込資格**：うらやす市民大学の趣旨に賛同する市民で、まちづくり活動を積極的に行う意欲のある方。
また、うらやす市民大学の受講年限を超えていない方。ただし、申し込み多数の場合は抽選となります。

> **うらやす市民大学の受講年限**
> うらやす市民大学は通算５年を超えて申し込みをすることができません。
> ただし、５年を超えた年度から２年経過した場合は再度申し込むことができます。

※秋学期、春学期に関わらず、一度の申し込みで１年受講したものとみなします。

■**申込手続**：〇申込書を提出する場合
受講申込書に必要事項を記載のうえ、うらやす市民大学事務局または市民参加推進課 (市役所３階) にご持参、またはうらやす市民大学事務局まで郵送してください。
うらやす市民大学事務局及び市民参加推進課での受付は、土日祝日を除く午前８時 30 分から午後５時までです。
〇電子申請の場合
右記の二次元コードまたは市公式 HP のオンラインサービス（ちば電子申請サービス）のページからお申し込みください。

■**申込結果**：申込結果は受講の可否にかかわらず、９月中旬に文書で通知します。
■**受講手続**：
・受講者は結果通知に記載の手続き (受講料の納入) を所定の期限までに行ってください。
・受講料の納付書は、結果通知とともに送付します。
・納入された受講料は、途中で受講を中止した場合でも返還しません。
・受講にかかる教材費や交通費など、別途実費負担が発生する場合があります。
■**注意点**：
・うらやす市民大学に専用の駐車場はありません。
・講義の日時・内容は、開講後に変更となる場合があります。
・令和８年度の講座については、当初予算が成立することを前提としています。
■**個人情報の取り扱いについて**：
「個人情報の保護に関する法律」に基づき、申込時に提出していただいた氏名、住所、その他の個人情報についてはうらやす市民大学事務局の業務でのみ使用します。

06 受講までの流れ

申込期間	申込結果の通知	受講料の入金	開講式	講座開始
７月14日(月)～ 8月31日(日) (必着)	９月中旬	９月26日(金) まで	10月３日(金)	10月７日(火)～

07 開講式のご案内

■**日時**：令和７年 10 月３日 (金) 午前 10 時～ (受付９時 30 分～)
■**場所**：浦安市まちづくり活動プラザ３階　うらやす市民大学　講義室１

日程	内容
10:00～10:10	開講式
10:10～10:40	市長講演
10:40～11:30	学長基調講演　【講師】長澤　成次（千葉大学名誉教授／うらやす市民大学学長）

08 履修モデル

◆まちづくりサポーターコース　講座履修例

応募動機

◎まちづくりに参加するきっかけとして申し込みをした
◎安全安心な地域の環境づくりに貢献したい
◎行政と関わりがなかったため、市の方針や考え方を知りたい

学びの内容

◎地域の安全安心には自治会活動だけでなく、子どもたちの教育や市内全域での活動でも貢献できると気が付いた
◎行政がどのような視点で防災に関するまちづくりを行っているのかを知った

まちづくり活動

◎地域の防災活動や防犯活動の担い手として活躍している
◎学校や地域の子ども会と連携して防災・防犯教育を行う団体を立ち上げた
◎修了演習で参加した災害ボランティアを継続し、市内で活動を行っている

	１年次秋学期	１年次春学期	２年次秋学期	２年次春学期
必修講座（4 講座 8 単位）	**市民自治論** ・市民、行政、議会のあり方を学ぶ ・市民自治の考え方を学ぶ	**行政のまちづくり論** ・防災も含めて行政が実際に行っていることを学び、あわせて市民との関わりを学ぶ	**市民のまちづくり論** ・地域で実際に活動を行っている方の視点から、まちづくり活動の実態を学ぶ	**修了演習** ・フィールドワークとして、災害ボランティアでの活動を経験
選択講座（6 講座 12 単位）	**環境・都市** ・市内や県内には、どのような災害に関する課題があるのかを学ぶ	**健康・福祉** **文化・教育・キャリア** ・防災に関係する授業があったため、「健康・福祉」講座、「文化・教育・キャリア」講座を受講	**環境・都市** **文化・教育・キャリア** ・防災と教育を掛け合わせた活動もできるのではないかと思い、「文化・教育・キャリア」講座を受講	**環境・都市** ・これまでの学習内容を踏まえ、再度、防災講座を受講

◆自由選択コース　講座履修例

応募動機

◎環境問題の啓発に取り組む団体に所属しているが、活動の幅を広げたい。
◎一緒に活動してくれるメンバーを増やしたい。

学びの内容

◎団体の会員にも共有したい課題や講義があった。
◎別の分野で他団体と連携した事例を聞き、活動のヒントとなった。

まちづくり活動

◎会員の勧誘や意識醸成のために、講義で取り扱った課題の講演会を行った。
◎市外の団体とも連携することができ、協力してくれる仲間が増えた。

	秋学期	春学期
選択講座	**環境・都市** ・地域の課題の再発見のため、環境講座を受講	**文化・教育・キャリア** ・団体として活動できる幅を広げるため、環境問題とは異なる分野の講座を受講

09 必修講座一覧

令和７年度秋学期および令和８年度春学期の必修講座は以下の講座を予定しています。
まちづくりサポーターコースをお申し込みの方は、４講座全ての履修となります。
自由選択コースにお申し込みの方は、『修了演習』以外の講座は受講できます。

○令和７年度秋学期
まちづくりサポーターコース必修時期：１年次秋学期

講座番号	2502- A
講座名	市民自治論　- これからのまちづくりに何が必要か -
コーディネーター氏名（肩書き）	関谷　昇（千葉大学大学院社会科学研究院教授／うらやす市民大学副学長）
授業期間・時間	令和７年 10 月 10 日（金）～令和８年２月 20 日（金）・10：00 ～ 11：30
掲載ページ	９～ 10 ページ
定員	30 名

まちづくりサポーターコース必修時期：２年次秋学期

講座番号	2502-B
講座名	市民のまちづくり論　- 学びとまちづくり活動との好循環をつくる -
コーディネーター氏名（肩書き）	長澤　成次（千葉大学名誉教授／うらやす市民大学学長）
授業期間・時間	令和７年 10 月 17 日（金）～令和８年２月 27 日（金）・13：00 ～ 14：30
掲載ページ	11 ～ 12 ページ
定員	30 名

○令和８年度春学期
まちづくりサポーターコース必修時期：１年次春学期

講座番号	2601- A
講座名	行政のまちづくり論　- まちづくりの実態把握と行政・市民との連携協力を探る -
コーディネーター氏名（肩書き）	中山　高樹（地域政策プランナー／元浦安市市長公室長）
授業期間	令和８年４月 10 日（金）～令和８年９月 18 日（金）・15：00 ～ 16：30
掲載ページ	13 ～ 14 ページ
定員	30 名

※修了演習については、まちづくりサポーターコースの方のみの受講となります。

講座番号	2601-B
講座名	修了演習
コーディネーター氏名（肩書き）	長澤　成次（千葉大学名誉教授／うらやす市民大学学長） 関谷　昇（千葉大学大学院社会科学研究院教授／うらやす市民大学副学長）
授業期間	令和８年４月～令和８年９月
掲載ページ	15 ページ

修了レポート中間発表会のご案内
令和７年度にまちづくりサポーターコースの２年目を受講している方たちの修了レポート中間発表会を行います。
■日時：**令和７年８月 30 日（土）**午前 10 時～ 12 時
■場所：浦安市まちづくり活動プラザ３階　うらやす市民大学　講義室１
■定員：先着 40 名
■申込：７月 14 日（月）からメールまたは電話でお申し込みください。

講座番号【2502-A】　　定員：30 名

市民自治論　－これからのまちづくりに何が必要か－

コーディネーター　関谷　昇（千葉大学大学院社会科学研究院教授／うらやす市民大学副学長）

【科目概要】

いま自治体は大きな転換期にあります。人口減少、少子高齢化、低成長経済、コミュニティの流動化が本格化するなか、まちのあり方は大きく変わりつつあります。これまでの発想やしくみに留まるだけでは、まちづくりを持続させていくことが困難になっていくことから、「公」「共」「私」の見直しや新たな形が問われ始めています。

そのためには、「地域生活の原点」に立ち返って、その意味を再確認する必要があります。地域生活とは、衣食住を基盤に、生まれる・育つ・学ぶ・働く・老いる・最期を迎えるということであり、そこで生きるということです。その可能性を探るためには、地域の歴史・人・資源・課題・将来の可能性を知ることが重要ですし、「どのような支え合いをつくり出せるか」「誰が何をすべきか」ということを考えることが求められます。それは同時に、自分にとって・まちにとって、どのような「つながり」が必要なのかということを改めて考えるということでもあります。市民自治とは、そうしたことを自分たちで考え、できることから実践していくことを意味しています。

この講座は、様々な地域活動や行政との連携事業に取り組んでいく上で必要となる考え方を学びます。市民自治の意味を知ることで、諸問題を探る知恵を身につけ、課題に応えていく構想力を膨らませていきます。

回	日 程	内 容
1	令和7年 10月10日(金) 10:00～11:30	**「囲い込み社会」から「越境する社会」への転換** 20 世紀モデルが、領域・業界・専門性といった境界線に囲い込まれた社会で、その枠組みの中で諸活動が営まれていたとするならば、21 世紀モデルは、その境界線が流動化し、様々なものが交わると言われます。その時代の転換期において、まちづくりはどうあるべきか？　その課題と方向性を確認します。 講師 **関谷　昇**（千葉大学大学院社会科学研究院教授／うらやす市民大学副学長）
2	令和7年 10月24日(金) 10:00～11:30	**「自治」の歴史（1）** 明治時代に翻訳語として定着した「自治」という言葉は、どのような意味を持って近代日本で用いられてきたのでしょうか。各々の時代における諸課題とこの言葉の意味を結びつけながら、町内会の歴史に見出される特徴を確認することによって、日本における自治の歴史を概観します。 講師 **関谷　昇**
3	令和7年 11月7日(金) 10:00～11:30	**「自治」の歴史（2）** 「自治」とは逆に、国家や官僚が市民を管理統制する体制が「官治」です。この中央集権的な「官治」の克服を目指し、自治体の自由度を高めて自立的な運営の実現を推進する地方分権改革は、この「自治」を目的としています。その現状と課題について確認しながら、今後の行方について考えます。 講師 **関谷　昇**
4	令和7年 11月21日(金) 10:00～11:30	**地域コミュニティの変容と課題** 地域コミュニティの自治は、合理化・効率化を求める近代化の文脈の中では、もっぱら克服の対象とされてきました。しかし、人口減少・少子高齢社会が本格化して、東京一極集中や都市型生活に歪みがもたらされ、さらに行政主導の諸政策の限界が出てくると、改めて地域コミュニティが注目されるようになります。ここでは、今後の地域コミュニティから「自治」の可能性について考えます。 講師 **関谷　昇**

回	日 程	内 容
5	令和7年 12月5日(金) 10:00～11:30	**市民自治の理論** 「市民」には何ができるのか？ 「市民自治」の理論や思想を整理しながら、その具体的な考え方、実現方法、諸事例、今後の可能性について一緒に考えます。 講師 **関谷　昇**
6	令和7年 12月19日(金) 10:00～11:30	**まちづくりの新たな可能性・ディスカッション（1）** これまでの講義を振り返りながら、これからのまちづくりの可能性について、一緒に考えます。 講師 **関谷　昇**
7	令和8年 1月9日(金) 10:00～11:30	**市民と行政** 自治体政府は、首長と議会との二元代表制によって成り立っていますが、その一翼である自治体行政は、市民自治の観点からどのようにとらえることができるでしょうか。首長のリーダーシップ、市民の行政参加などはこれからどのように展開していくのか、その意義と課題について考えます。 講師 **関谷　昇**
8	令和8年 1月23日(金) 10:00～11:30	**市民と議会** 自治体政府のもう一つの担い手である自治体議会は、市民自治の観点からどのようにとらえることができるでしょうか。代表制を介した意思決定のあり方、選挙、市民の政治参加など、市民と政治とのかかわりはこれからどうなっていくのか、その意義と課題について考えます。 講師 **関谷　昇**
9	令和8年 2月6日(金) 10:00～11:30	**浦安における「市民自治」** 浦安において市民自治を具現化していく可能性を探ります。これまでの浦安のまちづくりの特徴と課題を確認するとともに、いま見出される可能性を紐解きながら、これから市民・行政・議会は何をすべきかを考えます。 講師 **関谷　昇**
10	令和8年 2月20日(金) 10:00～11:30	**まちづくりの新たな可能性・ディスカッション（2）** これまでの講義を振り返りながら、これからのまちづくりの可能性について、一緒に考えます。 講師 **関谷　昇**

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

コーディネーターからのメッセージ　**関谷　昇**

　自分が日常生活を送っているこの「まち」は、いつまでもこのままで存在し続けるものではありません。

　この「まち」がこれからどうなっていくのか。われわれは、自分たちの生活をどのように考え、何を守り、何を変えていかなければならないのか。その答えを考えていくのが市民であり、議論して実践していくことが市民自治です。

　ぜひ、一緒に考えてみましょう！

講座番号【2502-B】　　定員：30 名

市民のまちづくり論　ー学びとまちづくり活動との好循環をつくるー

コーディネーター　長澤　成次（千葉大学名誉教授／うらやす市民大学学長）

【科目概要】

うらやす市民大学のコンセプトである市民自治によるまちづくりを考えるとき、学びとまちづくり活動との好循環を生み出す前提として市民の自主性・自発性が大切にされなければなりません。その精神を浦安市まちづくり基本条例は「まちづくりは、市民の意思に基づいて進められることを基本とする」と表現しています。本講座では、市民のまちづくり論をめぐる課題や論点を、市民活動をサポートする行政からの報告と、実際に市民活動をされている方からの報告、そして学びを通して地域を創る図書館・博物館・公民館などの社会教育施設の取り組みなどから学びます。

回	日 程	内 容
1	令和7年 10月17日(金) 13:00～14:30	**市民のまちづくり論** 千葉県内も含む日本におけるまちづくり・地域づくりに関わる社会教育の歴史をとりあげながら「まちづくり」の概念について考察するとともに、国際的動向をふまえながら市民主体のまちづくりについて考えます。 講師 **長澤　成次**（千葉大学名誉教授／うらやす市民大学学長）
2	令和7年 10月31日(金) 13:00～14:30	**受講生の問題関心を共有する** 第 1 回の講義をふまえつつ、受講生のこれまでのうらやす市民大学での学びや問題関心を共有する作業を通じて「市民のまちづくり論」を考えます。 講師 **長澤　成次**
3	令和7年 11月14日(金) 13:00～14:30	**市民の学びの力をどう活かすかー市民活動サポートとまちづくりー** 浦安市市民活動センターは、市民活動やボランティア活動・自治会活動に対して、さまざまな社会的資源の提供を通じて支援しています。担当職員からの説明と施設の見学、そして市民団体の活動を通して学びます。 講師 **浦安市市民活動センター / 市民活動団体 / 長澤　成次**
4	令和7年 11月28日(金) 13:00～14:30	**市民の学びの力をどう活かすかー生涯学習・生涯スポーツとまちづくりー** 第２次浦安市生涯学習推進計画と事業及び浦安市生涯スポーツ推進計画と事業についての説明を担当職員からお聞きするなかで、浦安市における生涯学習・生涯スポーツによるまちづくりを学びます。 講師 **浦安市生涯学習課 / 浦安市市民スポーツ課 / 長澤　成次**
5	令和7年 12月12日(金) 13:00～14:30	**市民のまちづくりの実践から学ぶー福祉のまちづくりー** 浦安市内で活動する「浦安介護予防アカデミア」、高齢などでお困りの方を助ける「たすけあいはとぽっぽ」などの具体的な実践から学びます。 講師 **高齢者支援にとりくむ市民活動団体 / 長澤　成次**
6	令和7年 12月26日(金) 13:00～14:30	**市民のまちづくりの実践から学ぶー持続可能な社会づくりー** 浦安市三番瀬環境観察館を訪問し、担当職員から事業内容を紹介していただきながら、浦安市での環境保全に関する活動や環境学習などについて、「浦安三番瀬を大切にする会」、「温暖化防止うらやす」、などの市民活動団体の実践から学びます。 講師 **（株）自然教育研究センター（浦安市三番瀬環境観察館環境学習受託業者）/ 環境保全学習に取り組む市民活動団体 / 長澤　成次**

回	日 程	内 容
7	令和8年 1月9日(金) 13:00～14:30	**市民の学びを通して地域を創る浦安市立中央図書館** 浦安市立中央図書館を訪問し、担当職員から事業内容を紹介していただきながら、実際に図書館で活動している市民の方からお話をしていただきます。 **講師 浦安市立中央図書館 / 図書館で活動する市民活動団体 / 長澤　成次**
8	令和8年 1月23日(金) 13:00～14:30	**市民の学びを通して地域を創る浦安市郷土博物館** 浦安市郷土博物館を訪問し、担当職員から事業内容を紹介していただきながら、実際に博物館で活動している市民の方からお話をしていただきます。 **講師 浦安市郷土博物館 / 博物館で活動する市民活動団体 / 長澤　成次**
9	令和8年 2月6日(金) 13:00～14:30	**市民の学びを通して地域を創る浦安市日の出公民館** 1946 年に文部省が「町村振興の底力を生み出す場所」として全国に設置を呼びかけた公民館。浦安市日の出公民館を訪問し、担当職員から事業内容をお聞きするとともに公民館で活動する市民活動団体等からお話をしていただきます。 **講師 浦安市日の出公民館 / 公民館で活動する市民活動団体等 / 長澤　成次**
10	令和8年 2月27日(金) 13:00～14:30	**市民のまちづくり論ーまとめー** これまでの講座をふりかえりながら「市民のまちづくり」をめぐる課題を受講生とともに考えます。 **講師 長澤　成次**

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子

市民の学びの力をどう活かすかー市民活動サポートとまちづくりー

市民の学びを通して地域を創る浦安市立中央図書館

コーディネーターからのメッセージ　**長澤　成次**

「市民のまちづくり論」では、受講された市民の皆様のまちづくりに関する問題関心を共有しながら、市民の学びの力をまちづくりに活かすための行政の支援や、浦安市内で活動する団体・グループ・ＮＰＯなどの多彩な活動・実践、そして市民の学びを支え・地域を創る図書館・博物館・公民館などの社会教育施設における事業やそこでの市民活動から学ぶプログラムを準備しています。

浦安における持続可能なまちづくりをめざして共に学んでみませんか。

講座番号【2601-A】　　定員：30 名

行政のまちづくり論　－まちづくりの実態把握と行政・市民との連携協力を探る－

コーディネーター　中山　高樹（地域政策プランナー / 元市長公室長）

【科目概要】

新たな総合計画も策定から５年、第１期基本計画（10 年間）も折り返し地点が過ぎ、この間、第１次実施計画（修正版）、第２次実施計画、そして令和８年からは第３次実施計画がスタートする予定です。様々な施策は今後どのような展開になっていくのだろうか？まちづくり基本条例で定めた浦安市独自の進め方は具体的に進んでいるのだろうか？私たち市民が、自主・連携の担い手として、責務をもって主体的に活動しなくてはならない時代になっていますが、参加と連携のあり様は決して一律ではなく、各地で様々な形で模索されているのが実情です。

行政がこれまでも今後もまちづくりにおいて、大きな役割を担うことには間違いがありませんが、市民が自主的・主体的に取り組んでいくためにも、行政が何をどのように取り組んできたかその歴史を学ぶこと、そして行政自身が市民とどのように連携を取ろうとしているかを知ることは極めて有用です。本講座では、総合計画の施策の大綱に併せて、限られたテーマですが、「行政のまちづくり」のあり方、進め方について考えます。

回	日 程	内 容
1	令和8年 4月10日(金) 15:00～16:30	**行政のまちづくり論を体系から考える（ガイダンス）** 総合計画の策定の意味、計画の位置づけ、掲げた基本目標実現にむけて取り組み施策の大綱（群）と取り組むべき展開内容を体系的に学びます。本講座のカリキュラム構成と意図を説明します。また受講生による関心領域等の紹介を行い、情報の共有化を図ります。 講師 **中山　高樹**（地域政策プランナー / 元市長公室長）
2	令和8年 4月24日(金) 15:00～16:30	**「地域とともに子どもを育む体制」をどう推進するか？** 施策の大綱「子どもの可能性と未来を拓く教育を推進する」に掲げた具体的な施策の展開内容のうち、「地域とともに子どもを育む体制の推進」に焦点をあてながら、本市の取組状況を学ぶとともに、市民としてどう関われるかを議論します。 講師 **浦安市学務課 / 中山　高樹**
3	令和8年 5月8日(金) 15:00～16:30	**「学びによる豊かな地域づくり」とはどうすれば実現するのか？** 施策の大綱「生涯にわたる学びと人とのつながりを大切にする」に掲げた具体的な施策の展開内容の中で、「学びによる豊かな地域づくりの推進」に焦点をあてながら本市施策の取組状況を学ぶとともに、市民としてどう関われるかを話し合います。 講師 **浦安市生涯学習課 / 中山　高樹**
4	令和8年 5月22日(金) 15:00～16:30	**「地域福祉を地域全体で支え合う活動」をどう推進できるか？** 施策の大綱「いつまでもいきいきと笑顔あふれる暮らしを創出する」に掲げた具体的な施策の展開内容の中で、「地域全体で支え合う活動の推進」に焦点をあてながら本市施策の取組状況を学ぶとともに、市民としてどう関われるかを話し合います。 講師 **浦安市社会福祉課 / 浦安市社会福祉協議会 / 中山　高樹**
5	令和8年 6月5日(金) 15:00～16:30	**「多様な主体による地域づくり」をどう推進するのか？** 施策の大綱「多様性を認め合い心豊かな暮らしを構築する」に掲げた具体的な施策の展開内容の中で、「多様な主体による地域づくりの推進」に焦点をあてながら、本市施策の取組状況を学ぶとともに、市民としてどう関われるかを話し合います。 講師 **浦安市地域振興課 / 中山　高樹**
6	令和8年 6月26日(金) 15:00～16:30	**「地域主体の防災対策」をどう構築できるか？** 施策の大綱「災害に強く犯罪が起こりにくいまちづくりを推進する」に掲げた施策の展開内容の中で、「地域主体の防災対策の充実」に焦点をあてながら、本市施策の取組状況を学ぶとともに、市民としてどう関われるかを話し合います。 講師 **浦安市危機管理課 / 中山　高樹**

回	日 程	内 容
7	令和8年 7月3日(金) 15:00～16:30	**「多様な主体との連携による緑の育成」はさらにどう進めるか？** 施策の大綱「水と緑を活かした快適な環境を整備する」に掲げた施策の展開内容の中で、「多様な主体との連携による緑の育成」に焦点をあてながら、本市施策の取組状況を学ぶとともに、市民としてどう関われるかを話し合います。 **講師 浦安市みどり公園課 / 中山　高樹**
8	令和8年 7月10日(金) 15:00～16:30	**「地域資源を活用した観光開発」をどう推進させたらよいか？** 施策の大綱「魅力あふれる観光･リゾートを振興する」に掲げた施策の展開内容の中で、「地域資源を活用した観光振興の推進」に焦点をあてながら、本市施策の取組の歴史、現況、今後の課題等を学ぶとともに、市民としてどう関われるかを話し合います。 **講師 浦安市商工観光課 / 中山　高樹**
9	令和8年 9月4日(金) 15:00～16:30	**「市政やまちづくりへの市民参加」をどう推進させられるか？** 総合計画の基本目標やそれらを実現していく上で基礎となる「持続可能な行財政運営」を推進する中で、施策の展開内容に掲げた「市政やまちづくりへの市民参加の推進」において、市の取組の現況、抱えている課題等を学ぶとともに、市民として今後どう関わっていくべきかを話し合います。 **講師 浦安市市民参加推進課 / 中山　高樹**
10	令和8年 9月18日(金) 15:00～16:30	**「行政のまちづくり論」を振り返る** 施策の展開内容の中でも、市民として、あるいは市民活動団体として、比較的関わりが強い施策について、それらの取り組み背景、歴史、現況と課題、今後の取り組み方などについて、受講生によるディスカッションを行います。 **講師 中山　高樹**

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子

『地域とともに子どもを育む体制』をどう推進するか？

『学びによる豊かな地域づくり』とはどうすれば」実現するのか？

コーディネーターからのメッセージ　**中山　高樹 先生**

　行政が今後もまちづくりにおいて、大きな役割を担うことには間違いありませんが、市民が行政に頼り切ることなく、自主的に主体的に取り組んでいくことも多々あると思われます。

　本講座を通じて、様々な施策の歴史や現況を知り、行政もどのように市民との連携を取ろうとしているのかを学ぶことで、市民と行政の今後の関わり方を考える良い機会になればと考えています。

講座番号【2601-B】　　定員：30名

修了演習

コーディネーター　長澤　成次（千葉大学名誉教授／うらやす市民大学学長）
関谷　　昇（千葉大学大学院社会学研究院教授／うらやす市民大学副学長）

【科目概要】

これまでの「まちづくりサポーターコース」での学びをふまえながら、受講生一人ひとりのまちづくりに関する問題意識・課題意識をもとに、どのような調査やフィールドワークを進めていくのか、また、そこで得た知見等をどのように修了レポートにまとめていくのかを受講生とともに学びあうことのできる演習とします。なお、本講座の成果として、修了レポートの中間発表会も予定しています。

演習における具体的な日程や進め方は担当講師毎に異なりますので、事前に行うガイダンスを踏まえ、登録を行っていただきます。

以下は概要となります。詳細は、担当講師からガイダンスで説明するとともに、さらに具体的な進め方は受講生との話し合いで決定します。

※本講座を受けられる方は、まちづくりサポーターコースをお申込みの方のみとなります。

回	日 程	内 容
演　習 開始前	令和８年 2月27日	**演習についてのガイダンス・登録** 進め方などについて各担当講師が説明し、その内容を踏まえ、まちづくりサポーターコースの受講生が参加したい演習に登録を行います。
1	令和８年 ４月	**オリエンテーション** 各演習の担当講師と受講生が修了レポートで取り上げるテーマや研究の方法を検討します。
２～８	令和８年 ４月～７月	**修了レポートの作成・議論、指導** 修了レポートの作成を行い、適宜内容の議論や講師からの指導、進捗状況の共有を行います。
９	令和８年 ８月22日(土) 予定	**修了レポート中間発表会** 受講生及び市民に向けて修了レポートの中間発表会を行います。
10	令和８年 ８月～９月	**修了レポートの完成に向けた指導・提出** 修了レポートの完成に向け、講師が適宜指導を行います。

○上記日程以外に、必要に応じて担当講師の指導を受ける場合があります。

講座の様子

修了レポートの作成・議論、指導

修了レポート中間発表会

MEMO

10 自由選択講座一覧

○令和７年度秋学期

講座番号	講座名 コーディネーター氏名（肩書き）		掲載ページ
	授業期間	時間	
2502-01	**うらやすで介護予防を進めるために** **ー住み慣れた町で最後まで自分らしく生きるためにー** 櫻井　しのぶ（順天堂大学大学院医療看護学研究科教授）		19 ～ 20
	令和７年 10 月７日（火）～令和８年１月 20 日（火）	10：00 ～ 11：30 ほか	
2502-02	**公衆衛生** **ー健康づくり、元気づくりから地域づくりの基本となる考え方を整理しますー** 岩室　紳也（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表）		21 ～ 22
	令和７年 10 月８日 (水）～令和８年３月４日（水）	13：00 ～ 14：30	
2502-03	**環境のために私たちにできること** **ー暮らしと環境とのつながりを捉え直すー** 石井　雅章（神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部教授）　※保育あり		23 ～ 24
	令和７年 11 月 16 日 (日）～令和８年３月８日（日）	13：00 ～ 14：30 ほか	
2502-04	**浦安のまちづくり形成史を読み解く** **ー「町」から「市」になって 40 年ー** 中山　高樹（地域政策プランナー／元浦安市市長公室長）		25 ～ 26
	令和７年 10 月９日 (木）～令和８年３月５日（木）	15：00 ～ 16：30	
2502-05	**安全で安心なまちづくり** **ー自分たちのまちは自分たちで守ろうー** 平田　恵二（千葉県警察犯罪抑止伝承官）		27 ～ 28
	令和７年 10 月９日 (木）～令和８年２月 12 日（木）	10：00 ～ 11：30 ほか	
2502-06	**地域で支える子育て環境** **ー全てのこどもが安心して育つことができる地域を創るー** 矢藤　誠慈郎（和洋女子大学人文学部こども発達学科教授）　※保育あり		29 ～ 30
	令和７年 10 月 18 日（土）～令和７年 12 月 13 日（土）	13：00 ～ 16：15 ほか	

○令和８年度春学期

講座番号	講座名 コーディネーター氏名（肩書き）		掲載ページ
	授業期間	時間	
2601-01	**浦安で、自分らしく、役割を感じながら、楽しく生き抜くために** **ー居場所・つながり・お互い様がなぜ必要なのかを考えますー** 岩室　紳也（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表）		31 ～ 32
	令和８年４月６日 (月）～令和８年９月 28 日（月）	13：00 ～ 14：30	
2601-02	**花のまちづくりガーデニング講座** **ー花と緑、彩り溢れるまちを目指してー** 大嶋　陽子（京都芸術大学通信教育部ランドスケープデザインコース非常勤講師）		33 ～ 34
	令和８年４月６日 (月）～令和８年９月 14 日（月）	15：00 ～ 16：30 ほか	
2601-03	**家族とまち・マンションを守るみんなの防災** **ー自助なくして、共助なしー** 中林　一樹（明治大学復興・危機管理研究所客員研究員／東京都立大学名誉教授）　※保育あり		35 ～ 36
	令和８年４月 11 日 (土）～令和８年６月６日（土）	13：00 ～ 16：30 ほか	
2601-04	**まちづくり活動ブラッシュアップ講座** **ー活動の質を高めるためにー** 朽木　量（千葉商科大学総合政策学部教授）　※保育あり		37 ～ 38
	令和８年４月 11 日 (土）～令和８年６月 20 日（土）	10：00 ～ 11：30	
2601-05	**わたしのまちづくり活動（現場で団体の事例から学ぶ）** **ーずっと暮らしたい“うらやす”へー** 畑山　文恵（特定非営利活動法人浦安まちづくりネット理事長）　※保育あり		39 ～ 40
	令和８年４月 19 日 (日）～令和８年９月６日（日）	13：00 ～ 16：15 ほか	
2601-06	**高齢化する市民社会における経済と法** **ー市民社会の「知」の探求ー** 兼重　賢太郎（明海大学不動産学部教授）		41 ～ 42
	令和８年５月 13 日 (水）～令和８年９月２日（水）	10：00 ～ 11：30	

講座番号【2502-01】　　定員：30名

うらやすで介護予防を進めるために－住み慣れた町で最後まで自分らしく生きるために－

コーディネーター　櫻井　しのぶ（順天堂大学大学院医療看護研究科教授）

【科目概要】

介護予防に関する知識や必要な技術の習得、地域活動への主体的な参加体験、地域における介護予防についての問題点の抽出等を通じて、介護予防について学ぶ機会を提供します。

回	日 程	内 容
1	令和7年 10月7日(火) 10:00～11:30	**介護予防とは** 介護予防の概念からその受容性を学ぶとともに、介護予防への取り組みが及ぼす、まちづくりの必要性について考えます。 講師 **櫻井　しのぶ**（順天堂大学大学院 医療看護学研究科教授）
2	令和7年 10月21日(火) 10:00～11:30	**地域におけるロコモ・フレイル予防の取り組みと社会的フレイル予防** 自立して元気に動き続ける身体を保つためのロコモ・フレイルに関する概要と、その中でも社会的フレイル予防の重要性についてお話しします。そして、市内で実施している予防活動の取り組みについてもご紹介します。 講師 **原田　静香**（順天堂大学医療看護学部先任准教授）
3	令和7年 10月28日(火) 10:00～11:30	**① 低栄養予防と口腔機能向上** 高齢期に適した健康づくりのための低栄養予防と口腔機能向上の取り組みや、その意義と実践方法についてお伝えします。 講師 **浦安市高齢者包括支援課** **② 介護予防アカデミアの活動のご紹介** 行政と市民団体が協働し「介護予防アカデミア」として行っている活動をご紹介します。 講師 **浦安介護予防アカデミア**
4	令和7年 11月13日(木) 13:00～14:30	**介護・寝たきりを予防するための骨格筋老化の基礎知識** ヒトが生涯にわたって健康で自立した生活を営むためには、日常動作の基盤となる筋肉量を維持することが必要不可欠です。当日は、介護予防の観点から、高齢者が運動する際に役立つと思われる高齢期骨格筋の特徴について紹介します。また、参加者の皆様の脚の老化度（ロコモ度）についても評価してもらう予定です。 講師 **町田　修一**（順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科教授）
5	令和7年 11月13日(木) 15:00～16:30	**介護予防のための筋力トレーニングの実践方法** 骨格筋の老化の特徴やスポーツ医科学の理論に基づく運動プログラムや評価方法について紹介し、特別な施設や測定器具がなくてもできる介護予防のための筋力トレーニングを紹介する予定です。 講師 **町田　修一**
6	令和7年 11月25日(火) 10:00～11:30	**ドクターズレストランのフレンチシェフに習う介護予防をテーマにした低栄養改善メニュー** フレンチシェフが要介護状態を出来る限り遅らせることを目的とした老化予防と低栄養改善の本格フレンチ料理を提案します。調理実習と試食会を実施します。 講師 **櫻井　雄司**（ビストロシャテール　シェフ）

回	日 程	内 容
7	令和7年 12月2日(火) 15:00～16:30	**肥満 vs やせ 高齢化時代の心臓病にどう対処するのか？** 循環器内科の中でも特に予防医学を専門にしています。糖尿病、脂質異常症や肥満・やせといった栄養状態と心臓病の関係を研究しており、浦安市内の住民の心不全を予防する仕組み作りに取り組んでいます。 講師 **宮崎　哲朗**（順天堂大学薬学部教授 / 順天堂大学浦安病院循環器内科准教授）
8 ・ 9	令和8年 1月8日(木) 13:00～14:30 15:00～16:30	**介護予防を目指した「まちづくり」とは** 介護予防を視点とした「まちづくり」(地域連携・市民活動との関係・行政との連携)を進めるための方法、介護予防リーダーの役割を探ります。 講師 **齊藤　恭平**（東洋大学大学院 ライフデザイン学研究科教授）
10	令和8年 1月20日(火) 10:00～11:30	**まとめ「うらやすで介護予防を進めるために」** 本講座で学んだこと踏まえ、今後のご自身生活にどのように実践していくのか。さらに、急速な高齢化を迎えるという「まちの問題」を抱えるうらやすが、今後どのようにあるべきかを皆さんで語り合います。 講師 **櫻井　しのぶ**

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子

介護予防のための筋力トレーニングの実践方法

介護予防をテーマにした低栄養改善メニュー

コーディネーターからのメッセージ　**櫻井 しのぶ 先生**

人生 100 年時代と言われる今日ですが、ただ長生きするのではなく、皆さん自立して人生を全うしたい（健康寿命）と願っています。そのためには、元気なうちからの介護予防の取り組みが重要です。私達が自らの介護予防について学び、地域で介護予防活動に取り組むことが、安心した老後の生活を送るために必要です。この講座では、介護予防の視点を持つことにより改めて浦安を見つめなおし、より充実した老後を送るために、私達に何ができるのかを考えていく機会にできればと思います。少しずつ新型コロナで制限されていた社会活動も再開してきました。自分らしく生きていくために、自分の介護予防だけでなく、誰もが安心して住み慣れた我が家で生きていける浦安市をもう一度私達の手で創るための時間にしていきたいと思っています。

講座番号【2502-02】　　定員：30 名

公衆衛生－健康づくり、元気づくりから地域づくりの基本となる考え方を整理します－

コーディネーター　岩室　紳也（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表）

【科目概要】

「健康づくり」と聞くと、「個人が頑張って病気にならない生活習慣を身に着けること」と思っていないでしょうか。確かにそのような要素がないとは言えませんし、実は医者になった頃の岩室紳也はそう思っていました。それだけではなく、医学部時代は絶対公衆衛生の分野には進まないと思っていました。それは公衆衛生の本当の意味を、予防の難しさを、そして公衆衛生の楽しさを理解していなかったからでした。

国が掲げている健康づくりのスローガンに「自然に健康になれる環境づくり」や「社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上」というのがあります。実際、全国各地の先進地では地域のつながりづくりを通して、気が付けば一人ひとりが健康になっている街づくりが進んでいます。

一方で新型コロナウイルスのまん延を受け、人と人のつながりが感染を広げるとの懸念から、つながりを避ける風潮が少なくありません。そう言う時だからこそ、これまで公衆衛生が培ってきた、様々な感染症対策を改めて学びませんか。

1854 年に疫学の父と言われたジョン・スノウがコレラの原因となった井戸を特定したのが公衆衛生の原点です。その後、様々な感染症対策で多くの成果を上げてきました。では、新型コロナウイルス対策はどうだったでしょうか。そしてコロナ禍を経験した日本人にどのような対策の副作用が残ったでしょうか。病原体の感染経路についての啓発が不十分なまま、マスクがどのような意味があるのかも「個人の判断」となった結果、高齢者のフレイル（虚弱な状態）が、自死が、不登校が増えました。しかし、そのような視点での報道は見かけません。

公衆衛生は、専門家だけで推進できるものではなく、専門家と行政と市民が一体となり、一人ひとりが健康になるだけではなく、社会全体が健康に、元気になるためにできることを模索し続ける目指す取り組みの総称です。一方でどうして専門知識が一般の方にいきわたらないかについて生成 AI に問いかけたところ、次のような回答でした。「専門的知見を曖昧なまま一般化すれば、行動変容は得られても誤解を生む。しかし、専門性をそのまま伝えても届かない。この狭間にあるのが、「科学と社会の翻訳者」としての公衆衛生の使命です」との回答でした。そして公衆衛生の基本は「対話」です。この対話を重ね、市民一人ひとりが今後のご自身や家族の健康づくりだけではなく、まちづくりの方向性について考え、道標を発見するための講座になることでしょう。

この講座はまちづくりサポーターコースの必修講座ではありません。しかし、ご参加いただければ、一人ひとりが地域でどのような役割を担えばいいのかのヒントは必ず持ち帰っていただけると思っています。

（この講座は令和８年４月から始まる「うらやすで、自分らしく、役割を感じながら、楽しく生き抜くために」と連動していますので、連続受講でさらに理解が深まります。また、講座では一方的な講義だけではなく、浦安市地域包括ケア評価会議との連動、受講生同士、さらには講師陣、さらには浦安市の行政や保健福祉機関等との対話、つながりづくりを重視しています。そのため、反復して受講される方も少なくありません）

回	日 程	内 容
1	令和7年 10月8日(水) 13:00～14:30	**一人ひとりが健康に関して気になっているテーマの共有** 受講生が健康に関して「気になっているテーマ」と「知りたいこと」 講師 **岩室　紳也**（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表）
2	令和7年 10月22日(水) 13:00～14:30	**「絶対ならない」から「虜になった公衆衛生の魅力とは」** 公衆衛生の広大な守備範囲の罠と魅力を考える 講師 **岩室　紳也**
3	令和7年 11月5日(水) 13:00～14:30	**感染症対策①** 新型コロナウイルス対策を市民目線で総括する 講師 **岩室　紳也**
4	令和7年 11月26日(水) 13:00～14:30	**感染症対策②** 病原体・免疫・感染経路に着目する意味 講師 **岩室　紳也**

回	日 程	内 容
5	令和7年 12月10日(水) 13:00～14:30	**感染症対策③** 対策の混乱と今後の方向性を考える 講師 **岩室　紳也**
6	令和8年 12月24日(水) 13:00～14:30	**そもそも「健康」とは？** WHO が考える「健康」を紐解く 講師 **岩室　紳也**
7	令和8年 1月7日(水) 13:00～14:30	**保健師が目指す浦安の地域づくりとは** 公衆衛生の中心的担い手である保健師の本音を伺います 講師 **岩室　紳也 / 浦安市中央地域包括支援センター**
8	令和8年 1月21日(水) 13:00～14:30	**公衆衛生対策の基本となる考え方①** ヘルスプロモーション 講師 **岩室　紳也**
9	令和8年 2月4日(水) 13:00～14:30	**公衆衛生対策の基本となる考え方②** ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ 講師 **岩室　紳也**
10	令和8年 3月4日(水) 13:00～14:30	**市民による、市民のための公衆衛生とは** なぜ、いま、「市民」が、「市民自治」が、「市民協働」が必要か 講師 **岩室　紳也**

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子

感染症対策

市民による、市民のための公衆衛生とは

コーディネーターからのメッセージ　**岩室　紳也 先生**

　この講座は知識を学ぶだけの講座ではありません。その知識だけではなく、それまでの受講生一人ひとりの経験を共有しつつ、どうすれば一人ひとりが、地域が、健康に、元気になれるかが実感できるための講座です。そして、そのために不可欠な参加者同士の、講師陣との、関係機関の職員、行政の職員とのつながりづくりを模索した懇親会も設定しています。ぜひ一緒に楽しい時間をすごしましょう。

講座番号【2502-03】　　定員：30 名

環境のために私たちにできること－暮らしと環境とのつながりを捉え直す－

コーディネーター　石井　雅章（神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部教授）

【科目概要】

この講座では、持続可能な社会を支えるひとつの柱である環境に焦点をあてて、私たちの暮らしと環境がいかにして相互に関わっているのかについて、具体的な活動をしている方々のお話を聴き、現場（フィールド）での見学や体験を通じて理解を深めていきます。具体的には、気候変動・資源循環と廃棄物・生態系と生物多様性、農林漁業と食料という４つの領域について学びます。最終的には、毎回の意見交換やディスカッションを通じて自身の考えをまとめ、持続可能な生き方・暮らし方への変容に向けた具体的なアイデアを発表・共有します。

回	日 程	内 容
1	令和7年 11月16日(日) 13:00～14:30	**持続可能な社会に向けた動きを理解する** 「持続可能な開発目標（SDGs）」で示されているように、環境と社会・経済が調和した持続可能な社会づくりに向けた動きが様々な分野から取り組まれています。この回では SDGs の概要を知り、私たちの暮らしとの関わりについて考えます。 講師 **石井　雅章**（神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部教授）
2	令和7年 12月14日(日) 10:00～11:30	**気候変動のメカニズムと日常生活との関わりを理解する** SDGs の中でも喫緊の課題として示されている気候変動について、そのメカニズムと自然及び社会への影響について理解します。また、日常生活の様々な場面との関わりについて具体的に考えます。 講師 **温暖化防止うらやす**
3	令和7年 12月14日(日) 13:00～14:30	**気候変動への緩和と適応を考える** 2015 年に示されたパリ協定を軸として、世界では産業革命以降の平均気温の上昇を1.5℃未満に抑えようとする取り組みが進みつつあります。日常生活とのつながりから気候変動への具体的な緩和と適応策を、参加者を交えて議論します。 講師 **石井　雅章 / 温暖化防止うらやす**
4	令和8年 1月25日(日) 10:00～11:30	**浦安市クリーンセンター見学＆解説** 浦安市クリーンセンターを見学して、資源循環と廃棄物の問題について具体的に学びます。浦安市における再資源化と廃棄物処理の取り組みを現場レベルで理解した上で、日常生活とのつながりについて考察します。 講師 **浦安市クリーンセンター**
5	令和8年 1月25日(日) 13:00～14:30	**循環型社会の構築に向けた動きを考える** 世界的に進みつつあるサーキュラー・エコノミー（資源循環型経済）の考え方を理解した上で、地域においてサーキュラー・エコノミーを具体的に推進するための工夫について、参加者を交えて議論します。 講師 **石井　雅章 / チーム 530**
6	令和8年 2月8日(日) 10:00～11:30	**地域における生態系の大切さを理解する** 浦安市のような都市部においても生き物同士のつながりである生態系が成り立っています。私たちが暮らす地域がどのような生態系と結びつき、生き物に支えられているのかを体験的に学びます。 講師 **㈱自然教育研究センター（浦安市三番瀬環境観察館環境学習受託業者）**

回	日 程	内 容
7	令和8年 2月8日(日) 13:00～14:30	**地域における生物多様性を実現する** 生物多様性は希少種の保護という観点だけではなく、気候変動や自然災害などの影響にも緩やかに対応できるちから（レジリエンス）という観点でも重要な考え方です。地域における生物多様性の実現に向けてできる具体的なアイデアを、参加者を交えて議論します。 講師 **石井　雅章 /** **㈱自然教育研究センター（浦安市三番瀬環境観察館環境学習受託業者）/** **浦安三番瀬を大切にする会 / 浦安水辺の会**
8	令和8年 2月22日(日) 10:00～11:30	**地域における暮らしと農林漁業のつながりを理解する** 私たちが日々生きるために不可欠な食料は、自然環境への働きかけを通じて得ています。地域における農林漁業と環境との関係性を浦安市郷土博物館の見学と解説を通じて理解します。 講師 **浦安市郷土博物館**
9	令和8年 2月22日(日) 13:00～14:30	**環境と食料、農林漁業の関係性を考える** 安心・安全な食料を地域において安定的に確保するにはどのようなことが必要でしょうか。地域における農林漁業と食料確保の重要性について、具体的な取り組みを紹介しながら、参加者を交えて議論します。 講師 **石井　雅章 / 浦安市郷土博物館**
10	令和8年 3月8日(日) 13:00～14:30	**持続可能な生き方・暮らし方を考える** 第９回までの内容をふまえて、持続可能な生き方・暮らし方への変容に向けた具体的なアイデアを受講者自らが発表･共有します。さらに講師からのコメントをふまえて、地域で協働できることを考えます。 講師 **石井　雅章**

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。
○この講座には保育があります。

講座の様子

地域における暮らしと農林漁業のつながりを理解する

地域における生態系の大切さを理解する

コーディネーターからのメッセージ　**石井　雅章 先生**

サステナビリティ（持続可能な社会）への移行はどの地域で暮らす人々にとっても避けることができない課題です。その実現には普段の私たちの生活（人間活動）と自然環境がお互いにどのように関係しているのかを理解することが必要です。この講座では、浦安エリアで実際に活動している皆さんによる解説や意見交換を交えて、体験的に学ぶことを目指しています。お互いの立場や考えを尊重しながら、持続可能な社会の実現に向けて一緒に学んでいきましょう。

講座番号【2502-04】　　定員：30 名

浦安のまちづくり形成史を読み解く－「町」から「市」になって 40 年－

コーディネーター　中山　高樹（地域政策プランナー / 元市長公室長）

【科目概要】

私たちが暮らすまち「浦安」を舞台に、私たちの身近な生活エリアがどのように形成されてきたか、その歴史を市制施行後 40 年の流れを中心に学びます。

今日、私たちのまちが抱えている「まちづくり」の課題は何か、また今後改善すべき方向性は何か、その多くはそのまちの成り立ちや都市構造そのものに起因していると見受けられます。

この講座では、これまでのまちづくりの経緯を身近なエリアの字や街区ごとにトレースしながら、今後のまちづくりに向けたポジショニングをどう取るべきかを共に考えます。

回	日 程	内 容
1	令和7年 10月9日(木) 15:00～16:30	**まちづくり形成史を学ぶ意義（ガイダンス）** カリキュラムの構成とテーマを説明しつつ、「自分たちが住むまち（身近なエリア）を対象に、まちがどのように形成されてきたか」を学ぶ意義を考えます。併せて受講生全員による自己紹介や受講にあたっての関心事を述べていただくことで、受講生による情報共有を図ります。 講師 **中山　高樹**（地域政策プランナー / 元市長公室長）
2	令和7年 10月23日(木) 15:00～16:30	**市制施行以降 40 年のまちづくり形成史概観** 市が掲げた「まちづくり目標」とその実践の具体化にむけた埋立事業や造成後の土地利用計画策定などの様々な行政計画の流れを、また後背地（旧市街地）で進められた土地改良事業や海面埋立事業用の工事用道路等の整備の流れを学びます。 講師 **浦安市郷土博物館 / 中山　高樹**
3	令和7年 11月6日(木) 15:00～16:30	**海面埋立事業による開発者負担と漁業権補償** 千葉県臨海部をつなぐ広域幹線道路網と、海面埋立に伴って必要となる漁業関係者への補償、造成後の土地利用を具現化する開発事業者の誘致、そして造成のための事業費の捻出など、大きく２期に分けて実施された海面埋立の流れを学びます。 講師 **中山　高樹**
4	令和7年 11月20日(木) 15:00～16:30	**大規模レジャーランド、鉄鋼団地、住宅地の３つの土地利用計画** 東洋一の大規模レジャーランドの開発、東京下町からまとまって進出してくる鉄鋼団地の建設、埋立に伴う漁業補償用地の確保や東京都心に通う中堅サラリーマン向けの住宅地供給など、埋立時初期に定めた３つの土地利用計画がどのように変遷してきたかを学びます。 講師 **中山　高樹**
5	令和7年 12月4日(木) 15:00～16:30	**鉄鋼団地の進出とその後の変遷** 浦安鉄鋼団地の誘致や入船４丁目地区の従業員向住宅地の開発などがどのように進められたかを学びます。さらに港・千鳥地区でその後に「物流基地」へと大きく変遷した経緯や旧市街地での「住工混在地区」解消の受け皿にどう活用されたかも併せて学びます。 講師 **加藤　里行**（浦安鐵鋼団地協同組合専務理事）**/ 中山　高樹**
6	令和7年 12月18日(木) 15:00～16:30	**大規模レジャーランド開発と A 地区メインセンター開発** 舞浜地区（C 地区）の東京ディズニーランド開発を推し進めるため、美浜・入船地区の新浦安駅前の商業・業務開発エリアを他の民間開発事業者に第三者譲渡された経緯や、その後の新浦安・舞浜の両駅周辺整備の開発協議や新浦安でのシンボルロード整備などの流れを学びます。 講師 **中山　高樹**

回	日 程	内 容
7	令和8年 1月22日(木) 15:00～16:30	**新町地域（D・E-a 地区）の開発変遷** 浦安市の公的な住宅地開発を担ってきた公団開発は、日本住宅公団、住宅・都市公団、都市基盤整備公団、UR 都市再生機構と、国の方針転換とともに分譲住宅中心から土地の分譲に開発へと変わりました。また千葉県企業庁の土地分譲も経営改革の影響を受けて、公共用地の引き継ぎ条件や民間開発事業者への土地分譲条件が大きく見直されます。そうした影響が今日に与えたものを考えます。 講師 **中山　高樹**
8	令和8年 2月5日(木) 15:00～16:30	**三番瀬の埋立計画中止の新町地域（D・E-a 地区）の都市計画見直し** 堂本県政の誕生とともに、浦安市に隣接する浅海域（三番瀬）を埋めたてる市川２期埋立計画の見直しが発表され、多くの環境団体の関心を集める中、この計画は中止となりますが、これに伴った新町地域開発の見直しが大きく求められます。この経緯を学ぶことで、今日抱える課題を探ります。 講師 **中山　高樹**
9	令和8年 2月19日(木) 15:00～16:30	**東日本大震災時の液状化被害と普及対策** 液状化被害については、私たち市民はまだまだ記憶に新しいですが、その後の対策がどのように行われたか、この 10 数年の取組を改めて学びます。また被害が大きかった戸建住宅地の現状を探索しつつ、建築・土木構造物（集合住宅・事務所ビル・橋梁・重要構造物等）における液状化対策の流れと取組状況を学びます。 講師 **石井　一郎**（元浦安市副市長）/ **中山　高樹**
10	令和8年 3月5日(木) 15:00～16:30	**まちづくりビジョンの変遷と策定体制と担い手の考え方** 浦安市は昭和 48 年策定の総合開発計画を基本に、時代の変化に対応しながら、第１期は㈱ OL の「商住地区実施計画」を、第２期は企業庁の「住宅地基本計画」がベースになって開発が進められてきました。現在は市民参加が進み、総合計画（基本構想＋基本計画＋実施計画）が核となっていますが、時代が大きく変わりつつある今日、改めて「まちづくりの担い手」をどのように捉えるべきか、受講生の皆さんと考えます。 講師 **中山　高樹**

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子

まちをつくり替える取り組み

市制施行以降 40 年のまちづくり形成史概観

コーディネーターからのメッセージ　**中山　高樹 先生**

「浦安のまちづくり形成史」を読み解くことで、私たち市民がどのようにこのまちを愛し、今日抱えている様々な諸課題を改善し、より魅力あるまちとなるよう歴史を繋いできているかを受講生の皆さんと考えたいと思います。そして、この講座も２順目となり、学びを通じてわかりにくい都市計画の仕組みや、まちづくりの理念や意味・方法などを少しでもわかりやすく伝えられることを願っています。

講座番号【2502-05】　　定員：30名

安全で安心なまちづくり－自分たちのまちは自分たちで守ろう－

コーディネーター　平田　恵二（千葉県警察犯罪抑止伝承官）

【科目概要】

匿名・流動型犯罪グループなど、新たな犯罪集団による凶悪犯罪が市民生活を脅かす中、地域における自主防犯対策の重要性が高まっています。

犯罪のない安全で安心なまちづくりのために市民一人一人がどう行動すべきか、地域でどのような防犯対策に取り組むべきかを学び「犯罪に強い安全なまち うらやす」の実現を目指しましょう。

回	日 程	内 容
1	令和7年 10月９日(木) 10:00～11:30	**犯罪抑止対策の経緯（日本は世界一安全な国？）** 「世界一安全な国」「水と安全はタダ」と言われた時代から、平成期の治安の急激な悪化と治安回復のための警察の取り組みなど、過去の犯罪抑止対策の経緯を振り返りながら、防犯対策の重要性を学びます。 講師 **平田　恵二**（千葉県警察犯罪抑止伝承官）
2	令和7年 10月16日(木) 15:00～16:30	**防犯ボランティアの概要（安全安心まちづくりに参加しよう）** 県内の自主防犯団体の概要や活動状況等を説明するとともに、浦安市学生防犯ボランティア（Ｖ５）を招き、活動状況や効果的事例等を紹介します。 また、新浦安駅で実施されている防犯キャンペーンに参加し、地域における自主防犯活動や広報啓発活動を学びます。 講師 **平田　恵二**
3	令和7年 10月30日(木) 10:00～11:30	**高齢者の防犯対策（留守番電話は犯罪から身を守る「カギ」）** 高齢化社会を迎え、犯罪のターゲットとなりやすい高齢者が犯罪から身を守るためにはどうすべきか、身近な固定電話機対策を中心に被害防止対策を学びます。 また、セブンーイレブン・ジャパンの協力の下、近年、増加が著しいコンビニエンスストアで発生する電子マネー詐欺やＡＴＭの不正利用を防ぐための取り組みを市民講師が説明します。 講師 **平田　恵二 / 杉山　民生**（セブンーイレブン・ジャパン）
4	令和7年 11月13日(木) 10:00～11:30	**女性の防犯対策（「あ・お・ぼ・ー・し」を実践しよう）** 女性警察官の発想から生まれた女性の自主防犯対策啓発チーム「あおぼーし」による実践型防犯講座を受講します。 女性のための護身術や、女性が犯罪から身を守るために日頃から心がけておくべきことを、女性警察官がわかりやすく教えます。 講師 **平田　恵二 / 千葉県警察　あおぼーし**
5	令和7年 11月27日(木) 10:00～11:30	**子どもの安全対策（未来を担う子供たちを守ろう）** 子供たちの周りでどんな犯罪が発生し、子供たちを犯罪から守るために保護者や学校、地域住民が何をすべきかを考えるとともに、地域の大人たちが犬の散歩や花の水やり等を通じて子供たちの登下校を見守る「ながら防犯」など、すぐに実践できる対策について学びます。 講師 **平田　恵二**
6	令和7年 12月18日(木) 10:00～11:30	**交通安全対策（高齢者を交通事故から守るために）** 高齢化社会を迎え、高齢者が交通事故の加害者や被害者にならないために注意すべき対策を千葉県警察の交通伝承官から学びます。 講師 **伊藤　正俊**（千葉県警察交通伝承官）

回	日 程	内 容
7	令和8年 1月15日(木) 10:00～11:30	**県内及び市内の犯罪情勢と自主防犯対策（情報を活用しよう）** 犯罪から身を守るためには、まず、自分たちの身近でどんな犯罪が発生しているか、地域の犯罪実態を知ることが不可欠です。 警察等が公表しているオープンデータや、県警が公開している「犯罪発生マップ」、「不審者情報マップ」、「交通事故マップ」等の活用方法を学ぶとともに、これらの情報を活用した自主防犯対策や地域で取り組む自主防犯パトロールについて学びます。 講師 **平田　恵二**
8 9	令和8年 2月5日(木) 10:00～11:30 13:00～14:30	**警察学校見学（治安の担い手はどのように育成されるの？）** 東金市に所在する警察学校（警察職員を養成する職業訓練学校）を見学し、千葉県警察の組織や警察官の活動について学びます。 また、警察官を目指す学生たちの訓練風景を見学し、治安を担う警察官がどのような訓練を積んで現場に出るのかを学び、認識を深めます。 講師 **平田　恵二**
10	令和8年 2月12日(木) 10:00～11:30	**安全で安心なまちづくりのために（学んだことを実践しよう）** 安全で安心なまちづくりのためには、住民一人一人が高い防犯意識を持ち、地域ぐるみで防犯対策に取り組むことが必要です。 本講座で習得した防犯知識を周りの人に伝えられるよう、９回の講座を振り返り、復習します。 講師 **平田　恵二**

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子

学生ボランティア活動

あおぼーし

コーディネーターからのメッセージ　**平田　恵二 先生**

通信媒体やＳＮＳの発達は、私たちの生活を豊かにする一方、電話ｄｅ詐欺などの犯罪や闇バイトを通じた「匿名・流動型犯罪グループ」という新たな犯罪集団を生むなど、負の側面もあります。これらの犯罪から身を守るためには、市民一人一人が犯罪から身を守るための知識を身に付けるとともに、「自分たちのまちは自分たちで守る」という高い防犯意識を持ち、地域全体で犯罪の起こりにくいまちづくりに取り組むことが必要です。

「犯罪に強い安全なまち うらやす」の実現のため、市民一人一人がどう行動すべきか、地域でどのような防犯対策に取り組むべきかを一緒に考えましょう。

講座番号【2502-06】　　定員：30 名

地域で支える子育て環境－ 全てのこどもが安心して育つことができる地域を創る－

コーディネーター　矢藤　誠慈郎（和洋女子大学人文学部こども発達学科教授）

【科目概要】

令和５年４月１日に「こども基本法」が施行され、その基本理念は、全てのこどもが尊重され、大切にされ、健やかに育ち、社会的活動の主体として扱われることを求めており、国は「こどもまんなか社会」を目指しています。この講座では、多様なこどもたちの具体的な姿を踏まえて、その課題の解決のために、地域の住民あるいは専門家として「全てのこども」が健やかに育つために何ができるかについて、共に考えていきます。

回	日 程	内 容
1	令和7年 10月18日(土) 13:00～14:30	**地域で子育てを支える（1）** 子育てが幸せで楽しいものになるために、地域の住民や専門家にどのような支援ができるかについて、子どもとの向き合い方を踏まえて学びます。 （コーディネーターによる講座のガイダンスを冒頭に行います。） 講師 **髙祖　常子**（子育てアドバイザー／キャリアコンサルタント）/ **矢藤　誠慈郎**（和洋女子大学人文学部こども発達学科教授）
2	令和7年 10月18日(土) 14:45～16:15	**地域で子育てを支える（2）** （1）での学びを踏まえたワークショップを通じて、地域で子育てを支える取組について考えます。 講師 **髙祖　常子 / 矢藤　誠慈郎**
3	令和7年 11月1日(土) 13:00～14:30	**特別な支援が必要なこどもを地域で支える（1）** 耳が聞こえないこどもが音楽を楽しむなど、障害を持つこどもたちも等しく多様な経験をするために、地域の住民や専門家にどのような支援ができるかについて、事例を踏まえて学びます。 講師 **外崎　純恵**（淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科専任講師）**/ 矢藤　誠慈郎**
4	令和7年 11月1日(土) 14:45～16:15	**特別な支援が必要なこどもを地域で支える（2）** （1）での学びを踏まえたワークショップを通じて、特別な支援が必要なこどもたちを地域で支えるための取組について考えます。 講師 **外崎　純恵 / 矢藤　誠慈郎**
5	令和7年 11月15日(土) 13:00～14:30	**地域の力を活かしてこどもを支える（1）** さまざまな地域住民の力を活かした子育て環境づくりについて、こどもと高齢者との交流事業やこども食堂の取組等を事例に学びます。 講師 **権　泫珠**（和洋女子大学人文学部こども発達学科教授）**/ 矢藤　誠慈郎**
6	令和7年 11月15日(土) 14:45～16:15	**地域の力を活かしてこどもを支える（2）** （1）での学びを踏まえたワークショップを通じて、地域の力を活かした子育て環境づくりの取組について考えます。 講師 **権　泫珠 / 矢藤　誠慈郎**
7	令和7年 11月29日(土) 13:00～14:30	**外国にルーツを持つこどもを地域で支える（1）** 外国にルーツを持つこどもたちが等しく育ち、学ぶ権利を実現するために、地域の住民や専門家にどのような支援ができるかについて、実践的な事例を踏まえて学びます。 講師 **内田　千春**（東洋大学福祉社会デザイン学部子ども支援学科教授）/ **矢藤　誠慈郎**

回	日 程	内 容
8	令和7年 11月29日(土) 14:45～16:15	**外国にルーツを持つこどもを地域で支える（2）** （1）での学びを踏まえたワークショップを通じて、外国にルーツを持つこどもたちを地域で支えるための取組について考えます。 講師 **内田　千春 / 矢藤　誠慈郎**
9	令和7年 12月13日(土) 13:00～14:30	**これまでの学びを振り返る** ワークショップを通じてこれまでの学びを振り返り、地域で支える子育て環境づくりの課題を抽出します。 講師 **矢藤　誠慈郎**
10	令和7年 12月13日(土) 14:45～16:15	**地域で支える子育て環境を創る** 全てのこどもを地域で支えるために、どのような子育て環境を創り出していくかについて、ワークショップを通じてそれぞれの立場で具体的にできることを考えていきます。 講師 **矢藤　誠慈郎**

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。
○この講座には保育があります。

講座の様子

地域で子育てを支える

特別な支援が必要なこどもを地域で支える

コーディネーターからのメッセージ　**矢藤　誠慈郎 先生**

現代では地域のつながりが弱まったなかで子育てが営まれており、親の責任や負担が大きな社会です。こども家庭庁は「こどもまんなか社会」をうたい、全てのこどもが尊重され、愛され、安心して未来に向かって育っていけるよう、社会全体でこどもの育ちを支えることを目指しています。「全てのこども」にどのようなこどもたちがいて、その多様なこどもたちがどんな状況にあり、どんな支援を必要としているかについて、共に考えていきましょう。

講座番号【2601-01】　　定員：30 名

浦安で、自分らしく、役割を感じながら、楽しく生き抜くために
ー居場所・つながり・お互い様がなぜ必要なのかを考えますー

コーディネーター　岩室　紳也（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表）

【科目概要】

「公衆衛生」の次は「自分らしく」。おそらく多くの人はこの連動性がピンとこないと思います。しかし、このピンとこないテーマが腑に落ちた時、皆さんも浦安市でご自身にとっても、そして地域にとっても不可欠ないろんなつながりを模索するようになっていることでしょう。

もちろん楽しく生き抜くためには何より健康であることが大事です。しかし､多くの人は健康というと個人が「運動・栄養・休養」といった課題に取り組むことと理解しています。もちろんそれも大事ですが、コロナ禍で多くの人が疲弊し、高齢者のフレイル（虚弱な状態）が、自死が、不登校が増えました。

公衆衛生の常識として多くの人とつながりを持ち続けている方は元気で長生きだということということは多くの研究者が証明してくれています。自分が参加していなくても、周囲の人が運動やスポーツグループに参加している割合が高いと自分の寿命も延伸されるというデータがあります。健康づくりで大事なことは、一人ひとりがつながるために、できる人が、できることを、できる時に、できるようにすることです。

と偉そうに言っている岩室紳也は、これまで臨床医として様々な患者さんの診療をさせていただきました。がん･悪性腫瘍を含む様々な泌尿器科の疾患を持っている方だけではなく、HIV/AIDS、薬物依存症、様々な障がいを抱えている方々と向き合い続けてきました。その中で、一人ひとりの患者さんにとって、病を、障がいを抱えても、いろんな人とつながり続けられることが自分らしく、楽しく生きることにつながることを教えていただきました。

一方で岩室紳也は長年、浦安市の地域包括ケア評価会議のアドバイザーとして、市民の皆様、関係機関の、行政の職員、そして専門家の方々と一緒に、「居場所・つながり・お互い様」のまちづくりを模索してきました。一人ひとりが、気が付けば、自分らしく、役割を感じながら、楽しく生き抜ける浦安づくりに向けて、この講座でも皆様と一緒に次なるステップを考え、見いだせたらと思っています。

この講座はまちづくりサポーターコースの必修講座ではありません。しかし、ご参加いただければ、一人ひとりが地域でどのような役割を担えばいいのかのヒントは必ず持ち帰っていただけると思っています。

（この講座は、令和７年 10 月から始まる「公衆衛生　- 健康づくり、元気づくりから地域づくりの基本となる考え方を整理します -」と連動していますので、連続受講でさらに理解が深まります。また、講座では一方的な講義だけではなく、浦安市地域包括ケア評価会議との連動、受講生同士、さらには講師陣、さらには浦安市の行政や保健福祉機関等との対話、つながりづくりを重視しています。そのため、反復して受講される方も少なくありません）

回	日　程	内　容
1	令和8年 4月6日(月) 13:00～14:30	**一人ひとりに「必要なこと」を再考します** 講座が目指すところを確認し、お互いを知りあう 講師 **岩室　紳也**（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表）
2	令和8年 4月20日(月) 13:00～14:30	**コロナ対策の副作用を考える** 人と人の交流を阻害する、自己責任型感染対策を検証します 講師 **岩室　紳也**
3	令和8年 4月27日(月) 13:00～14:30	**きょうよう、きょういくの大切さ** 教養、教育だけでは健康になれない？！？　必要なことは・・・ 講師 **岩室　紳也**
4	令和8年 5月11日(月) 13:00～14:30	**生老病死をどう生き抜くか** 避けて通れない現実とどう向き合えばいいのかを考えます 講師 **岩室　紳也**
5	令和8年 5月25日(月) 13:00～14:30	**市民と行政が一体となった地域づくり** 健康づくりでなぜ「地域づくり」なのかを深堀します 講師 **岩室　紳也**

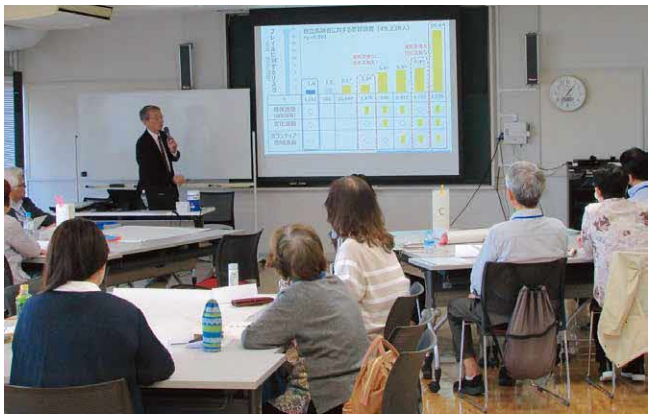
回	日　程	内　容
6	令和8年 6月8日(月) 13:00～14:30	**高齢者を支える「地域包括ケア」って何？** 浦安市の先進的な地域包括ケアシステムの中で市民ができることは 講師 **岩室　紳也 / 浦安市中央地域包括支援センター**
7	令和8年 6月22日(月) 13:00～14:30	**こころがつらい人が増える理由** うつ、不登校、家庭内暴力、犯罪、等々が増える理由、減らすコツ 講師 **岩室　紳也**
8	令和8年 7月13日(月) 13:00～14:30	**人と人をつなぐ、人と人がつながる浦安市** 浦安市が仕掛けている、市民主体の元気と健康づくりの実践に学ぶ 講師 **岩室　紳也 / 浦安介護予防アカデミア**
9	令和8年 9月7日(月) 13:00～14:30	**医療を上手に活用するのは住民一人ひとり** 住民が医療の主役でいるためにできること 講師 **岩室　紳也**
10	令和8年 9月28日(月) 13:00～14:30	**私が実践したいこと、実践していること** 講座の学びを実践につなげるには 講師 **岩室　紳也**

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子

コロナ対策の副作用を考える



生老病死をどう生き抜くか

コーディネーターからのメッセージ　**岩室　紳也 先生**

　この講座は知識を学ぶだけの講座ではありません。その知識だけではなく、それまでの受講生一人ひとりの経験を共有しつつ、どうすれば一人ひとりが、地域が、健康に、元気になれるかが実感できるための講座です。そして、そのために不可欠な参加者同士の、講師陣との、関係機関の職員、行政の職員とのつながりづくりを模索した懇親会も設定しています。ぜひ一緒に楽しい時間をすごしましょう。

講座番号【2601-02】　　定員：30名

花のまちづくりガーデニング講座― 花と緑、彩り溢れるまちを目指して―

コーディネーター　大嶋　陽子（京都芸術大学通信教育部ランドスケープデザインコース非常勤講師）

【科目概要】

本講座は10年に亘って「うらやすのまちを花で彩る」ことを目標に継続的に開催しております。講座では園芸を始めるための基礎知識の習得、花壇づくりの方法、さまざまな場面で活用できる実践的な実習などを業界で活躍する経験豊富な講師から広く学ぶことができます。初心者から経験者まで、楽しく園芸やガーデニングを学びたい方、花を通じた社会貢献やコミュニケーション活動に興味のある市民の皆様のご参加をお待ちしております。

回	日　程	内　容
1	令和8年 4月6日(月) 15:00～16:30	**花壇づくりの基礎知識** 花壇づくりに適する草花の種類、土や肥料、道具類など園芸の基礎知識を学びます。 講師 **大嶋　陽子**（京都芸術大学通信教育部ランドスケープデザインコース非常勤講師）
2	令和8年 4月20日(月) 15:00～16:30	**種まき・苗づくり（実習その1）** 花壇づくりに必要な種まきの仕方、苗づくりの方法、良い苗の選び方などについて実習します。 講師 **大嶋　陽子**
3	令和8年 5月11日(月) 15:00～16:30	**花壇管理の基礎知識** 花壇やコンテナガーデンを維持するための基礎知識や日常的な管理方法について学びます。 講師 **大嶋　陽子 / 浦安市みどり公園課**
4	令和8年 5月25日(月) 15:00～16:30	**ハンギングバスケットづくりと楽しみ方（実習その2）** ハンギングバスケットの楽しみ方を学び、実際に夏に向けてのハンギングバスケットづくりの実習を行います。 講師 **山口　まり**（園芸研究家／NHK「趣味の園芸」講師）**/ 大嶋　陽子**
5	令和8年 6月1日(月) 13:00～16:30	**花苗生産農場の見学** 花苗生産の農場を見学し、草花の種類や栽培、管理の方法について学びます。 講師 **大嶋　陽子**
6	令和8年 6月8日(月) 15:00～16:30	**花壇づくりの実践（実習その3）** 花壇づくりの基礎知識をもとに、実際の花壇を使って土づくり、苗の選び方、植え方などを実習します。 講師 **大嶋　陽子 / うらやすガーデナーズクラブ**
7	令和8年 6月22日(月) 15:00～16:30	**挿し芽や挿し木による増殖（実習その4）** 宿根草や花木の挿し穂のつくり方や使用する用土の知識、発根促進の方法とその後の管理について実習します。 講師 **大嶋　陽子**
8	令和8年 7月13日(月) 15:00～16:30	**園芸のトレンドと植物選びのポイント** 注目の園芸植物やカラーリーフなど、花壇づくりに役立つ植物の選び方や入手の仕方、栽培方法について学びます。 講師 **片山　陽介**（園芸研究家／植物自由区）**/ 大嶋　陽子**

回	日　程	内　容
9	令和８年 9月7日(月) 15:00～16:30	**世界最高水準の園芸文化の再興を目指して** わが国は江戸時代に当時の地球上で最高水準の園芸文化を花開かせました。1990 年に大阪で開催されたアジアで初めての国際園芸博覧会「国際花と緑の博覧会（花の万博)」はガーデニングブームを招来し、花や緑を楽しむ人が増えました。その後、わが国では「淡路花博」「浜名湖花博」と兵庫県及び静岡県による国際園芸博覧会が行われましたが、令和９年（2027）には横浜にて 37 年ぶりに国主催の国際園芸博覧会が開かれます。これを機会に、地球環境時代にふさわしい花と緑あふれる国やまちづくりを進めたいものです。 講師 **賀来　宏和**（千葉大学大学院園芸学研究科客員教授）
10	令和８年 9月14日(月) 13:00～16:30	**花のまちづくり運動と浦安での事例** 全国で行われている花のまちづくりの事例とともに市民協働で行う花のまちづくりを進める上での要点などを学びます。また、浦安市内で行われている市民による緑化活動の現場を訪ねて、交流を図ります。 講師 **和田　博幸**（公益財団法人日本花の会特任研究員）**/ 浦安市みどり公園課 / 大嶋　陽子**

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子

ハンギングバスケットづくりと楽しみ方

花壇づくりの実践

コーディネーターからのメッセージ　**大嶋　陽子 先生**

　花や緑で気持ち良い環境と暮らしやすいまちづくりを目指します。地球温暖化や環境の変化により植物の育つ状況も変わりつつありますが、園芸の基礎知識や実習を通して楽しくガーデニングを学びましょう。実習では手や体で感じる植物との触れ合いも経験していただけます。身近な緑に関心を持つきっかけとなり、浦安市の花のまちづくり活動にも役立つ講座にしていきたいと思います。

講座番号【2601-03】　　定員：30 名

家族とまち・マンションを守るみんなの防災－自助なくして、共助なし－

コーディネーター　中林　一樹（明治大学復興・危機管理研究所客員研究員／東京都立大学名誉教授）
インストラクター　吉川　忠寛（防災都市計画研究所代表）

【科目概要】

2026 年は東日本大震災から 15 年、熊本地震から 10 年の節目です。前者は日本海溝を震源とする M9 の巨大地震で、津波による直接死が約 18,500 人、避難生活中などでの関連死が約 3,800 人を超え、後者は直下の M7.3 の断層地震で自宅の崩壊等による直接死が 50 人に対して関連死が 226 人に達しました。30 年以内に発生する確率が 70%といわれて久しい「首都直下地震」から、家族を守るために一人一人が取り組む自助、自分たちの地域やマンションから関連死を出さないためにみんなで取り組む共助、そんな防災の考え方と対策について、語り合い、学びあいましょう。

回	日　程	内　容
1	令和８年 ４月11日(土) 13:00～14:30	**災害とは何か、防災とは何か** 災害とは何か。大きな地震や台風が発生することが災害でしょうか。被害が出なければ、どんな大きな地震や台風でも災害ではありません。災害の発生とは、地震や台風などの外力に対して建物やまちに被害が出ることで、防災とはその被害を軽減することです。 講師 **中林　一樹**（明治大学復興・危機管理研究所客員研究員／東京都立大学名誉教授）
2	令和８年 ４月11日(土) 15:00～16:30	**最近の災害にみる特徴と課題―複合災害が被害を拡大する―** 能登半島地震では、１月１日の地震災害で壊滅的に被災した奥能登が、９月に集中豪雨で再度被災し、被災者は二重被災して被害が激甚化し、仮設住宅も 200 戸以上が床上浸水して「複合災害」になりました。最近の災害の特徴と課題を考えます。 講師 **中林　一樹**
3	令和８年 ４月25日(土) 13:00～14:30	**「首都直下地震」の被害想定と被災様相** 首都直下地震の被害想定 (内閣府 2013) や東京都の被害想定 (2022) から首都圏を襲う震災の特徴とその課題を考えます。浦安市を取り巻く首都圏のリスクとは、定量的に想定できる建物被害とともに定性的に被害想定されているライフラインを失った生活困難、在宅避難と関連死などのようなリスクについて考えます。 講師 **中林　一樹**
4	令和８年 ４月25日(土) 15:00～16:30	**浦安直下地震の被害想定と被災様相** 東日本大震災時の浦安の被害と浦安直下地震の被害想定 (2013) を比較して、首都直下地震時やその後に危惧される風水害との複合災害に対する浦安のリスクをみんなで“想像”し、どのように備えるべきかを話し合ってみましょう。 講師 **中林　一樹**　　＊宿題：我が家の「家具配置・食の備蓄」の点検
5	令和８年 ５月９日(土) 13:00～14:30	**自助の取り組み①　我が家の耐震化・家具の固定** 地震災害対策の基本は地震動に対する被害軽減です。建物の揺れ方の特徴を学び、建物と室内空間の耐震化、とくに家具配置・照明器具など、受講生の皆さんが「我が家の室内の安全化」に向けた“改造プラン”を考える機会としましょう。 講師 **中林　一樹**
6	令和８年 ５月９日(土) 15:00～16:30	**自助の取り組み②　我が家の食・トイレの備え** 関連死対策として、避難所避難のみならず在宅避難、縁故避難などの分散避難が提案され、避難所の生活水準はスフィア基準という国際基準化が提案されています。「災害時は避難所へ」から「災害時も在宅避難で」に変わり、最低１週間を自宅で生き延びる「食・飲料水・トイレ」の備蓄を考えます。 講師 **中林　一樹**

回	日　程	内　容
7	令和８年 ５月23日(土) 13:00～14:30	**浦安の「防災まち歩き」（グループ）** 歴史的な浦安の街並みが残る「猫実地区のまち歩き」で、なつかしい街並みですが、避難や災害対応活動も困難な基盤整備状況の木造住宅密集地区での防災まちづくりの取り組みとその意義を考えます。 講師 **中林　一樹 / 吉川　忠寛**（防災都市計画研究所代表）**/ 浦安市まちづくり事務所**
8	令和８年 ５月23日(土) 15:00～16:30	**浦安の「防災まち歩き」のまとめ（ワークショップ）** 「猫実地区の防災課題」を整理し、こうした歴史的な街並みと新しいマンションを中心とする地域で構成された浦安のまちで生き延びるための、地域連携によるみんなでとりくむ“浦安防災”を考えてみましょう。 講師 **中林　一樹 / 吉川　忠寛**
9	令和８年 ６月６日(土) 13:00～14:30	**共助の取組①　被災後の安否確認・要配慮者支援・避難生活支援** マンション団地居住者と一般市街地居住者のグループにわかれて、被災直後の安否確認・要配慮者支援、マンションの在宅避難と地域の避難所避難の支援（共助）、在宅避難と避難所避難の運営を考えてみましょう。 講師 **中林　一樹 / 吉川　忠寛**
10	令和８年 ６月６日(土) 15:00～16:30	**共助の取組②　被災からの住まいの復旧・再建プロセス** マンション団地居住者と一般市街地居住者のグループにわかれて、緊急避難➡避難生活➡仮住まい➡住宅再建に向かって、どのように被災後の暮らしを展開し、被災した住まいを再建していくのか､被災者の復旧･復興の取組み（プロセス）を考えてみましょう。 講師 **中林　一樹 / 吉川　忠寛**

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。
○この講座には保育があります。

講座の様子

『首都直下地震』の被害想定と被災様相

防災まち歩き

コーディネーターからのメッセージ　**中林　一樹 先生**

皆さん、地震対策の基本は何だとお考えですか。飲み水・食料の備蓄、携帯トイレの準備、避難所の確認、ご近所の助け合い、・・・とても大事な取り組みです。が、これは地震の揺れから生き延びて、初めて役に立つ備えです。31 年前の阪神・淡路大震災では、一瞬の揺れで 10 万 5 千棟が全壊し、5,500 人もが自宅で命を落しました。地震対策の基本は、この一瞬の強震から命を守る対策です。自宅の耐震化と家具の固定という自助で被害を減らし、生き延びた人達がたくさんいれば、その人たちが隣人に手を差し伸べる。隣人が、そしてあなたが、地域の共助の担い手になるのです。そんな家族とみんなのための防災を、みんなで考えてみませんか。

講座番号【2601-04】　　定員：30名

まちづくり活動ブラッシュアップ講座－活動の質を高めるために－

コーディネーター　朽木　量（千葉商科大学総合政策学部教授）

【科目概要】

地域活動を行う団体は数多くありますが、それらの団体全てが上手く経営できているとは限りません。

本講座は、マネジメントやマーケティング、地域分析やクラウドソーシングなどの知識・スキルを身に付けて、受講者の皆様が取り組んでいる（あるいは立ち上げようとしている）地域活動の効率的な運営と質の向上のノウハウを伝える講座です。

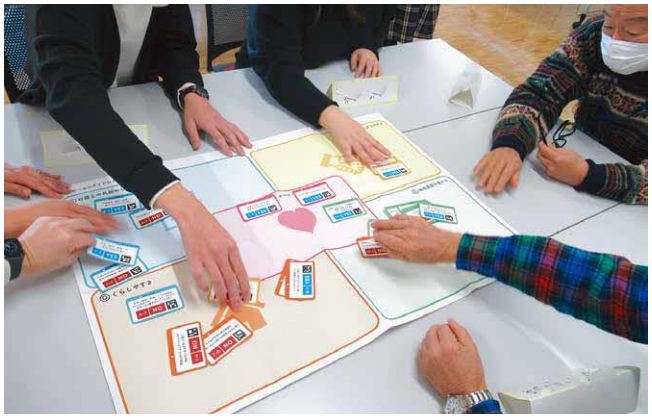
回	日　程	内　容
1	令和８年 ４月11日(土) 10:00～11:30	**地域活動についての思いを可視化してみよう** 本プログラム全体を通じて身につける地域活動団体の運営や中間支援のスキルをワークショップ形式で可視化して、目的意識をはっきりさせます。 講師 **朽木　量**（千葉商科大学総合政策学部教授）
2	令和８年 ４月18日(土) 10:00～11:30	**非営利組織におけるマーケティング** 営利を目的としない活動において、マーケティングがどのような意味を持つのか、また、いかにして適応できるかを考えます。 講師 **坂本　旬**（千葉商科大学商経学部准教授）
3	令和８年 ４月25日(土) 10:00～11:30	**非営利組織のマネジメントと戦略** 経営学において、営利を目的としない活動に対して有効となる考え方を検討し、そうした活動にいかにしてつなげていくかを考えます。 講師 **坂本　旬**
4	令和８年 ５月９日(土) 10:00～11:30	**非営利組織のための地域分析** 無料公開されているポータルサイトを利用して、個別の地区の地域分析をする方法について説明していきます。 講師 **朽木　量**
5	令和８年 ５月16日(土) 10:00～11:30	**クラウドソーシングの概要** 情報通信技術の発達によりもたらされたクラウドソーシングの実践的活用法について学んでいきます。 講師 **熊野　健志**（非営利活動法人いちかわライフネットワーククラブ副理事長）
6	令和８年 ５月23日(土) 10:00～11:30	**首都近郊における地域活動の実際と未来** 人口動態の変化を前提に首都近郊における地域活動とその担い手にはどのような可能性があるのか、市川市での実践をもとに提案いたします。 講師 **熊野　健志**
7	令和８年 ５月30日(土) 10:00～11:30	**気付きを与える質問力と傾聴力** ファシリテーションの基礎となる質問力と傾聴力について実践的に学んでいきます。 講師 **影山　貴大**（J-doc company .LLC 代表社員）
8	令和８年 ６月６日(土) 10:00～11:30	**ファシリテーション概論** 地域の現場や会議の場で必要となるファシリテーションの基礎について実践的に学んでいきます。 講師 **影山　貴大**

回	日　程	内　容
9	令和８年 ６月13日(土) 10:00～11:30	**大学生とのつながり方** 大学生をはじめとする 10 代～ 20 代のユース・若手の現役層と繋がって自らの地域活動を活性化する方法について考えます。 講師 **大石　果菜**（淑徳大学地域共生センターコーディネーター）
10	令和８年 ６月20日(土) 10:00～11:30	**まとめ・気付きを広げていくには** 本プログラム全体を通じて身につけた気付き・学び・スキルをワークショップ形式で可視化して、次の一歩につなげていきます。 講師 **朽木　量**

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。
○この講座には保育があります。

講座の様子



大学生・ワカモノとの活動の広げ方

首都近郊における地域活動の実際と未来

コーディネーターからのメッセージ　**朽木　量 先生**

地域活動団体の多くは、活動に対する情熱が先行して立ち上げられたものが多く、必ずしも効率的な運営が出来ているとは限りません。団体を運営するためのコツを、経営（マネジメント）・マーケティング・地域分析・外部委託（クラウドソーシング）・会議を活性化するためのファシリテーション技法・世代を超えて活動を継続させていくための若者とのつながり方といった観点から解説していきます。地域活動団体を運営している方、これから立ち上げたいと思っている方へ向けて、ご自身の活動をより活性化させるためのノウハウをこの講座から学んでみませんか。

講座番号【2601-05】　　定員：30 名

わたしのまちづくり活動（現場で団体の事例から学ぶ）－ずっと暮らしたい“うらやす”へ－

コーディネーター　畑山　文恵（特定非営利活動法人 浦安まちづくりネット理事長）

【科目概要】

私たちの暮らしの中には、さまざまなニーズや課題があります。これらは、多様化しているばかりか、その状況も変化し続けています。このニーズや課題解決には、市民の力が不可欠といわれていますが、加えて、行政や他の団体、機関などとの協力関係、連携、また、地域における緩やかなつながりも必要です。

この講座では、まちづくり活動について理解を深め、その事例から多くの気づき、学びを得ます。さらに具体的に身近で感じている“まちのお困りごと”について深掘りし、「わたしのまちづくり活動」へとつなげます。

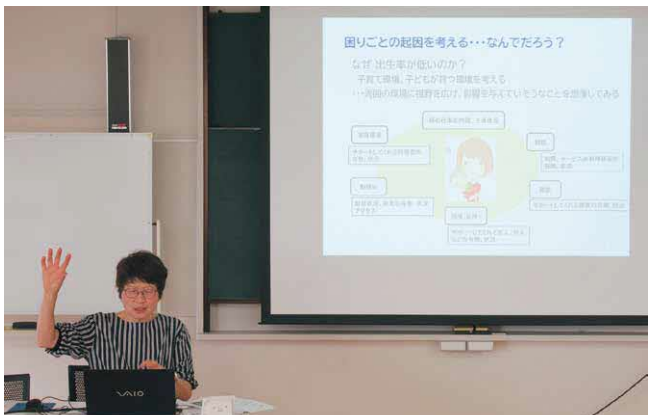
回	日　程	内　容
1	令和8年 4月19日(日) 13:00～14:30	**まちづくり活動とは何か** まちづくり活動の現状を学び、そのイメージを明確にします。そして、活動のポイント、コミュニティ、他者との関わり、連携等について学びます。 講師 **鍋嶋　洋子**（認定特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ）**/ 畑山　文恵**（特定非営利活動法人 浦安まちづくりネット理事長）
2	令和8年 4月19日(日) 14:45～16:15	**わたしが見つけたまちづくり活動** グループワークでは、身近にある“気になること、お困りごと”など地域課題について話し合い、その解決方法について考えます。 講師 **鍋嶋　洋子 / 畑山　文恵**
3	令和8年 5月17日(日) 13:00～14:30	**公園ボランティアから考えるまちづくり活動** 市民が集い憩う場所のひとつが公園です。公園ボランティア活動を基点にさまざまな活動を展開している弁天ふれあいの森公園を訪れ、公園の果たす役割、多彩なボランティア活動、浦安市とのパートナーシップについて学びます。 講師 **後藤　隆**（ふれあいの森公園を育む会代表）**/ 畑山　文恵**
4	令和8年 6月7日(日) 13:00～14:30	**浦安の水辺から考える「まちづくり」** 三方を水辺に囲まれた浦安、そして市の中央を流れる境川。市民にとって水辺はとても身近なものです。この水辺をフィールドとして活動を続けている市民活動団体の皆さんと共に、これからの水辺を考えていきます。 講師 **横山　清美**（浦安三番瀬を大切にする会・浦安水辺の会事務局）**/ 畑山　文恵**
5	令和8年 6月21日(日) 13:00～14:30	**浦安の自治会活動～入船北エステート自治会の場合** 元町・中町・新町と３つのエリアに分かれる浦安ですが、中町地区にある入船北エステート自治会の活動、さまざまな取り組みの紹介、また、地域コミュニティ、防災、高齢化問題などの課題にも触れます。 講師 **亀井　克一**（入船北エステート自治会会長）**/ 畑山　文恵**
6	令和8年 7月5日(日) 13:00～14:30	**NPO 団体をサポートする！～たなばたマルシェの取り組み～** 中間支援団体（NPO を支援する NPO）の活動について～浦安の地域課題や NPO 団体が抱える課題、NPO と行政・企業のつながりなど、現状を理解します。中間支援としての取り組みのひとつ、たなばたマルシェを見学し、参加団体の方々にもお話しを伺います。 講師 **畑山　文恵**

回	日　程	内　容
7	令和8年 7月26日(日) 13:00～14:30	**浦安のこども食堂について学ぶ** こども食堂はさまざまな人たちとのつながりによって、事業が広がっています。立ち上げまでのストーリーやその後の事業運営、資金調達、行政や他団体との連携についてお話しを伺い、地域におけるこどもを取り巻く状況、居場所について考えます。 講師 **高嶋　賢一**（一般社団法人スマイルこども食堂浦安代表）/ **畑山　文恵**
8	令和8年 8月23日(日) 13:00～14:30	**シニア世代の仲間作り～じぃじぃたちの活動～** クッキングを通じてシニア世代（特に男性）の仲間作りを実践しているじぃじぃクッキングの活動から、地域課題（浦安における高齢者を取り巻く課題）について考えます。 講師 **脇野　兼昭**（じぃじぃクッキング代表）/ **畑山　文恵**
9	令和8年 9月6日(日) 13:00～14:30	**講座の振り返り** 第８回活動体験の共有とこれまでの講座の気づきや感想について話し合い、どうすれば、みんながずっと暮らしたいと思う“うらやす”になるか、意見交換を行います。 講師 **畑山　文恵**
10	令和8年 9月6日(日) 14:45～16:15	**発表「わたしのまちづくり活動」** これまでの講座での気づき、学びを活かして、参加者が考える地域課題、その解決につながる方法について発表します。 講師 **畑山　文恵**

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。
○この講座には保育があります。

講座の様子



まちづくり活動とは何か

公園ボランティアから考えるまちづくり活動

コーディネーターからのメッセージ　**畑山　文恵 先生**

　まちづくり活動は積極的にまちに出て人とつながり、課題解決していく中で、やりがいを感じながら「ずっと暮らしたいと思うまち」「もっと好きになるまち」を目指すことでもあります。この講座では、いくつかの事例を通して学び、考え、まずは「わたしのまちづくり活動」を見つけましょう。そして、次に行動に移すことで「わたしたちのまちづくり活動」へとつなげていきます。

講座番号【2601-06】　　定員：30名

高齢化する市民社会における経済と法－市民社会の「知」の探求－

コーディネーター　兼重　賢太郎（明海大学不動産学部教授）

【科目概要】

これからの日本社会では、大都市圏においても、財政的・都市空間的にダウンサイジング（縮退化）の局面を迎えることが予想されます。現在は、豊かな財政を誇り、住民の平均年齢が千葉県内で最も若い浦安市においても、将来、この流れとまったく無縁であり続けることは難しいものと考えられます。

このような認識のもと、本講義では、浦安市のもつポテンシャルと課題を踏まえつつ、今後予想される社会経済動向やライフスタイルの変化に着目しながら、主に経済学的・法学的観点から、これからの地域社会を主体的に支えていく市民として必要な視点・社会との関わりかたなどについて、受講生の皆さんと一緒に考えていく予定です。

回	日　程	内　容
1	令和８年 5月13日(水) 10:00～11:30	**ガイダンス、財政問題と税の将来** はじめに、この講義全体のねらいについてお話します。次に、市民社会を支える財源である税とその使い途について、直近のデータ等をみながら現状を把握し、これからのありかたについて考えます。 講師 **藤原　徹**（元明海大学教授）**/ 兼重　賢太郎**（明海大学不動産学部教授）**/ 浦安市財政課**
2	令和８年 5月20日(水) 10:00～11:30	**「都市」としての浦安市** 高齢化の進展とともに、過疎の問題に悩まされる自治体は少なくありません。一方、浦安市は約17万人の人口を抱える都市であると同時に、東京のベッドタウンとしての顔も持っています。人々が集まる「都市」はなぜ形成されるのでしょうか。「都市」にはどのような利点や問題点があり、どのような政策が必要とされるのでしょうか。経済学的な視点を紹介しつつ、これからのありかたについて考えます。 講師 **藤原　徹 / 兼重　賢太郎**
3	令和８年 5月27日(水) 10:00～11:30	**公共施設・公共サービスの料金設定のありかた** 浦安市は、現時点では豊かな財政状況ですので、公共施設や公共サービスの利用料金は無料あるいは低く抑えられるべきだと考える方もいらっしゃることでしょう。この回では、公共施設や公共サービスの料金設定のありかたや運営上の課題について考えます。 講師 **藤原　徹 / 兼重　賢太郎**
4	令和８年 6月3日(水) 10:00～11:30	**事業評価の方法** 新規の公共事業を実施すべきかどうかはどのように判断すればよいのでしょうか。「無駄」な公共事業や公共事業の「必要性」とはどのような意味でしょうか。費用便益分析や費用対効果分析といった、事業評価の手法のほんのさわりを紹介し、市民の視点からの公共事業の実施へのかかわりかたについて考えます。 講師 **藤原　徹 / 兼重　賢太郎**
5	令和８年 6月10日(水) 10:00～11:30	**「公共」サービスの担い手のあり方と費用負担** 市民社会における様々なニーズを、国、地方自治体、地域社会、個々人、誰が担っていくか、どのように担っていくのか、について、前半の内容を振り返りつつ、受講生の皆様と一緒に考えます。 講師 **藤原　徹 / 兼重　賢太郎**

回	日　程	内　容
6	令和８年 6月17日(水) 10:00～11:30	**都市の縮退化時代におけるまちづくりと法** 人口減少社会の到来が唱えられる中、市街地の拡大を基調とした都市政策からの転換を目指し、近時、「コンパクトシティ」「賢い縮退（スマートシュリンク）」などの都市政策の理念が提示されつつあります。空き家・空き地などをはじめとした住まいの問題、都市縮退化時代における建物・土地の「過少利用」の問題など、まちづくりについて法制度はどのように対応できる / すべきなのか、考えていきたいと思います。 **講師 兼重　賢太郎 / 藤原　徹**
7	令和８年 6月24日(水) 10:00～11:30	**世代間の財産承継と法** 典型的な財産承継は「相続」ですが、俗に「争族」ともいわれるように、親族間の紛争にまでエスカレートしてしまうことも、少なくありません。「相続」に関し、現状の法制度が抱えている問題・課題、近年の制度改革等を踏まえた上で、そのあり方を考えていきたいと思います。 **講師 兼重　賢太郎 / 藤原　徹**
8	令和８年 7月1日(水) 10:00～11:30	**これからの福祉・介護のあり方と法** 高齢化社会における福祉や介護は、そのサービスを受ける人たちだけの問題ではなく、そのサービスを担う人たち・組織、そしてサービスを支える制度の問題でもあります。持続可能な福祉・介護サービスを維持していく上で、現状の法制度が抱える課題やその改善等について、考えていきたいと思います。 **講師 兼重　賢太郎 / 藤原　徹 / 浦安市介護保険課**
9	令和８年 7月8日(水) 10:00～11:30	**AI 社会と法** これからの社会では、ますます AI（人工知能）・ロボットの果たす役割が大きくなることが予想されます。AI が社会の中で広く受容され、うまく活用されていくためには、技術的な進展のみならず、法制度の整備も必要となってきます。例えば、自動走行車の事故の責任はどうなるかなど、いくつかの想定されうるケースをもとに、AI 社会における法制度の課題やありかたについて、考えていきたいと思います。 **講師 兼重　賢太郎 / 藤原　徹**
10	令和８年 9月2日(水) 10:00～11:30	**情報公開制度、全体のまとめ** わたしたちが市民社会の「担い手」として活動していく上では、正確な情報に基づく必要があります。このような認識のもと、公的機関が保有する情報を広く市民に公開する目的で構築された情報公開制度の現状や課題について、考えていきたいと思います。あわせて、これまでの講義全体の振り返りも行います。 **講師 兼重　賢太郎 / 藤原　徹**

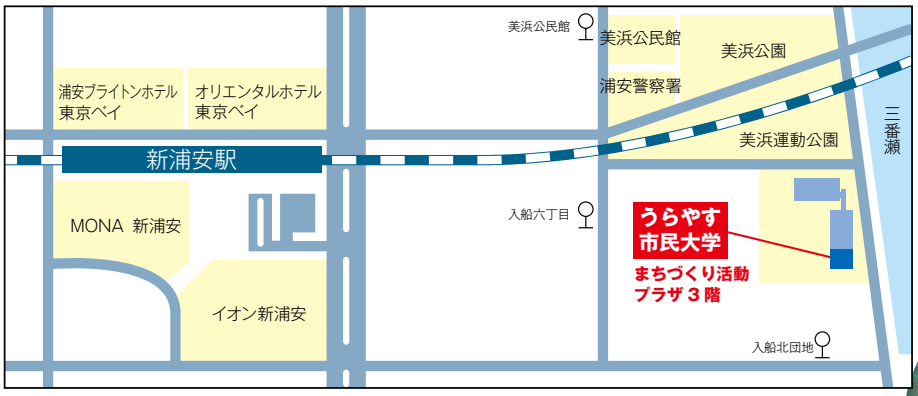
備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

コーディネーターからのメッセージ　**兼重　賢太郎 先生**

「経済」や「法」と聞くと、みなさんの中には、やや小難しいイメージをお持ちになる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、「経済（学）」も「法（学）」も、近代市民社会の成長とともに発展してきた歴史をもちます。近代経済学の祖といわれるアダム・スミスは「市民社会」の成立条件を考察したと言われますし、また、法に関していえば、英語で民法は「civil law（市民の法）」なのです。これからの市民社会のあり方、市民社会の担い手のあり方などを皆さんと一緒に考えていければと思います。

アクセス



《公共交通機関》
◎ＪＲ新浦安駅から徒歩約 12 分
◎おさんぽバスじゅんかい線
「入船北団地」下車徒歩約５分
「美浜公民館」下車徒歩約７分
◎京成バス千葉ウエスト千鳥営業所１系統
「入船六丁目」下車徒歩約５分

《お車でお越しの場合》
◎駐車スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
◎うらやす市民大学専用の駐車場ではありません。
◎駐車後、１階管理室にて駐車場利用簿にご記入いただく必要があります。

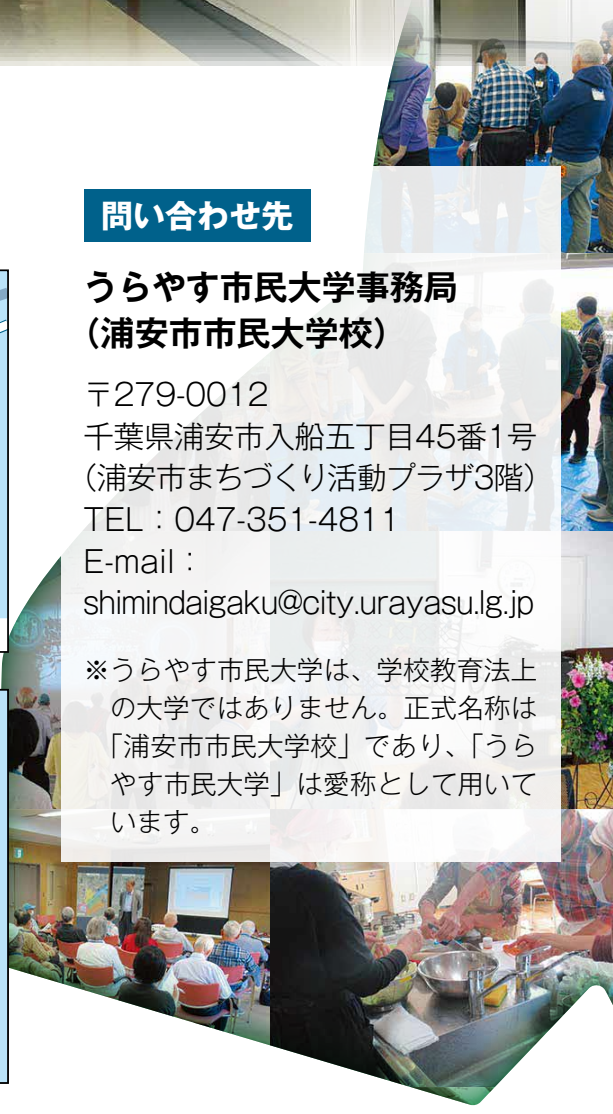
まちづくり活動プラザとは…
　まちづくり活動プラザは、様々な世代の人々が交流やまちづくり活動をすることができる施設です。入船地区学校統合に伴い、「旧入船北小学校」をリニューアルし、平成30年度にオープンしました。施設では、まちづくり活動団体による5事業と市の4事業が運営されています。また、市民の皆さんが活動できる多目的室や体育館、運動場もあります。

問い合わせ先

うらやす市民大学事務局
（浦安市市民大学校）

〒279-0012
千葉県浦安市入船五丁目45番1号
（浦安市まちづくり活動プラザ3階）
TEL：047-351-4811
E-mail：
shimindaigaku@city.urayasu.lg.jp

※うらやす市民大学は、学校教育法上の大学ではありません。正式名称は「浦安市市民大学校」であり、「うらやす市民大学」は愛称として用いています。



浦安市